ひょうご学力向上推進プロジェクト
ひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成
平成２７年度　研究のまとめ（１年目）

つまずきポイントの
整理と系統性

～児童生徒のつまずき解消をめざして～

平成２８年３月

兵庫県教育委員会

目　次

１　はじめに　１
２　ひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成　２
（１）事業の概要　・・・・・・・　２
（２）３年間のスケジュール　・・・・・・・　３
（３）平成２７年度の取組概要　・・・・・・・　４
３　ひょうごつまずき状況調査　５
（１）ひょうごつまずき状況調査の実施にあたって　・・・・・・・　５
（２）ひょうごつまずき状況調査に向けた取組　・・・・・・・　５
（３）ひょうごつまずき状況調査実施概要　・・・・・・・　６
４　ひょうごつまずき状況調査結果と分析（国語）　８
（１）教科に関する調査（国語）結果の主な特徴　・・・・・・・　８
（２）領域別による課題等　・・・・・・・　８
（３）学年間における正答状況の特徴的な設問　・・・・・・・　８
（４）教科に関する調査と児童生徒質問紙調査のクロス集計における分析　・・・・・・・　９
（５）教科に関する調査の設問間クロス集計における分析　・・・・・・・　９
（６）課題の見られた特徴的な問題　・・・・・・・１０
（７）設問別集計結果概要　・・・・・・・１４
（８）調査結果概況　・・・・・・・１６
（９）児童生徒質問紙〔回答結果集計〕　・・・・・・・１７
５　ひょうごつまずき状況調査結果と分析（算数・数学）　２２
（１）教科に関する調査（算数・数学）結果の主な特徴　・・・・・・・２２
（２）領域別による課題等　・・・・・・・２２
（３）学年間における正答状況の特徴的な設問　・・・・・・・２２
（４）教科に関する調査と児童生徒質問紙調査のクロス集計における分析　・・・・・・・２３
（５）教科に関する調査の設問間クロス集計における分析　・・・・・・・２３
（６）課題の見られた特徴的な問題　・・・・・・・２４
（７）設問別集計結果概要　・・・・・・・２８
（８）調査結果概況　・・・・・・・３０
（９）児童生徒質問紙〔回答結果集計〕　・・・・・・・３２
６　児童生徒のつまずきポイントと平成２８年度研究テーマ　３８
（１）つまずきポイントの整理について　・・・・・・・３８
（２）つまずきポイント　・・・・・・・３９
（３）つまずきポイントの系統性と平成２８年度協力校研究テーマ一覧　・・・・・・・４０
①小学校国語　・・・・・・・４０
②中学校国語　・・・・・・・４２
③小学校算数　・・・・・・・４４
④中学校数学　・・・・・・・４６
【ひょうごつまずき状況調査基礎資料】
過去の全国学力・学習状況調査で課題の見られた問題（Ａ問題）　４８
（１）小学校国語（正答率７０％以下）　・・・・・・・４８
（２）中学校国語（正答率６０％以下）　・・・・・・・５０
（３）小学校算数（正答率６６％以下）　・・・・・・・５２
（４）中学校数学（正答率４５％以下）　・・・・・・・５４

１　はじめに

全国学力・学習状況調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として、平成１９年度から実施されている。本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であるが、児童生徒の学力の定着状況を考える客観的なデータであるとともに、授業改善に向けた指標となっている。

本県では平成１９年度から、全国学力・学習状況調査について、学力向上実践推進委員会を中心に結果の分析を行い、学習指導要領の趣旨を踏まえた効果的な学習指導や指導方法の工夫・改善策をリーフレットにまとめ、シンポジウム等を通じて市町教育委員会、学校、保護者等と分析結果の共有を図ってきた。

結果の分析を行う中で、主として「知識」に関する問題（A問題）にも継続して課題となる問題等が見られた。そこで、児童生徒の課題となっているつまずきを解消し、学力の底上げを図るとともに、各市町や学校における指導の工夫改善を支援するため、以下の３点を本事業実施の背景として、３年計画で実施することとした。

【事業実施の背景】

・全国学力・学習状況調査に見られる児童生徒の課題はそれまでの学年でのつまずきに原因があるのではないか

・つまずきの解消には、系統的な指導やカリキュラムとなるような工夫・改善が必要ではないか

・つまずきを解消する効果的な指導方法の工夫や授業改善について、共有する必要があるのではないか

本研究のまとめは、「ひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成」について、実施の初年度となる平成２７年度の取組をまとめ、次年度以降の実践研究に資することとする。なお、本研究のまとめは、以下の３点を柱として構成する。

①　ひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成について

②　ひょうごつまずき状況調査について

③　つまずきポイントの整理と平成２８年度研究テーマについて

２　ひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成

（１）事業の概要

ア　事業の趣旨

「全国学力・学習状況調査」の結果から明らかとなった課題等を踏まえ、①分析により明らかとなった課題に対するポイントの整理、②つまずきの解消による学力の底上げを図るなど、各市町や各学校における指導の工夫・改善を支援する。

また、学びサポート協力校において授業等を通した実践研究を行い、児童生徒の学習意欲を高める効果的な指導事例等を蓄積し、指導資料等の充実を図る。

イ　内容

(ｱ)　指導資料作成検討委員会の設置

さらなる学力向上の方策として、基礎学力の向上に重点化し、平成１９年度より実施されている全国学力・学習状況調査において課題の見られた問題を、「知識」に関する問題（Ａ問題）を中心に分析することにより、本県児童生徒のつまずきポイントを明らかにする。

そして、つまずきポイントとそれに関連する指導内容・指導事項を整理し、指導事例集等の作成、授業モデルの動画等の作成を３年計画で実施する。

- 委員構成　学識経験者、行政関係者、教員（学びサポート協力校）等
- 開　　催　検討委員会（年間２回程度）、教科部会（年間４回程度）

(ｲ)　学びサポート協力校（国語、算数・数学）の指定

指導資料作成検討委員会での検討に加えて、学びサポート協力校を指定し、授業等を通じた実践研究を行い、児童生徒の学習意欲を高める効果的な指導方法や教材等を蓄積し、指導資料等の充実を図る。

① 学びサポート協力校での研究内容例

・授業実践を通した児童生徒のつまずきポイント詳細の洗い出し
・児童生徒へのアンケート調査の実施
・洗い出しやアンケート調査結果等を踏まえた指導方法や教材等の研究　等

② 学びサポート協力校の指定

平成２７年度　学びサポート協力校

国語	算数・数学
伊丹市立鈴原小学校	三田市立けやき台小学校
加古川市立加古川小学校	加東市立社小学校
上郡町立山野里小学校	姫路市立城乾小学校
豊岡市立田鶴野小学校	新温泉町立浜坂北小学校
丹波市立西小学校	篠山市立篠山小学校
淡路市立大町小学校	南あわじ市立神代小学校
宝塚市立南ひばりガ丘中学校	尼崎市立大庄北中学校
明石市立魚住東中学校	小野市立小野中学校
姫路市立四郷中学校	姫路市立大白書中学校
養父市立養父中学校	豊岡市立豊岡南中学校
丹波市立和田中学校	篠山市立丹南中学校
洲本市立五色中学校	淡路市立北淡中学校

（２）３年間のスケジュール

〔平成２７年度：１年目〕

つまずきポイントの整理と関連する学年での指導内容・指導事項の検討
及び平成２８年度研究の方向性

・指導資料作成検討委員会の設置
・学びサポート協力校（以下協力校）の指定
・ひょうごつまずき状況調査の実施及び分析
・分析結果を踏まえた２８年度研究テーマ
　及び指導内容の工夫・改善策の検討

検討委員会（全体会）
教科部会

研究のまとめ（１年目）の作成【事務局】

〔平成２８年度：２年目〕

つまずきポイントの解消に向けた指導内容の工夫・授業改善の実践

・研究テーマを踏まえた指導内容の工夫・授業改善の実践
・発達段階や系統性を踏まえた各学年・学年層での取組
・学習タイム等を活用した学校全体の取組
・効果的な教材等の作成

検討委員会（全体会）
教科部会
協力校訪問（事務局）

実践事例集の作成【協力校】

〔平成２９年度：３年目〕

指導内容の工夫・授業改善の継続実践、指導場面の動画撮影等の編集・作成

・２８年度の成果と課題を踏まえた実践の継続
・指導場面の撮影（各学年）
・指導場面の動画編集・作成作業

検討委員会（全体会）
教科部会
協力校訪問（撮影訪問）

効果的な指導場面の動画作成【事務局】

（３）平成２７年度の取組概要

月	取組の概要
５	**ひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成に係る指導資料作成検討委員　委員委嘱**
６	**第１回教科部会**　　※学識経験者（大学関係者）が各担当教科部会に参加 ①実施日　小学校国語部会　平成２７年６月１０日（水） 中学校国語部会　平成２７年６月　９日（火） 算数・数学部会　平成２７年６月　４日（木） ②内　容 ・つまずきポイントの整理、分析の進め方の確認 ・事前送付（委員委嘱時）した過去のＡ問題（正答率が７０％以下を抽出）を分析し、児童生徒がつまずきやすい内容の検討 ・ひょうごつまずき調査（教科に関する調査と児童生徒質問紙）案の作成分担
７	**各指導資料作成検討委員（学校関係者委員）によるひょうごつまずき調査案の作成**
８	**第２回教科部会（小中合同開催）** ①実施日　国語部会　平成２７年８月１７日（月） 算数・数学部会　平成２７年８月２０日（木） ②内　容 ・ひょうごつまずき調査（教科に関する調査・児童生徒質問紙）、実施対象学年等の検討
９	**各学びサポート協力校におけるひょうごつまずき状況調査の実施**
１０	（９月末～１０月初旬）
１１	**第１回検討委員会、第３回教科部会**　　※学識経験者も参加 ①実施日　平成２７年１１月６日（金） ②内　容 ・事務局による調査結果の分析についての検討
１２	**各指導資料作成検討委員（学校関係者委員）によるひょうごつまずき状況調査の詳細分析と平成２８年度研究の概要案作成**
１	**第４回教科部会** ①実施日　国語部会（小中合同）　平成２８年１月２５日（月） 算数部会　平成２８年１月２０日（水） 数学部会　平成２８年１月２８日（木） ②内　容 ・ひょうごつまずき調査結果分析の詳細検討（つまずきポイントの整理） ・つまずき解消に向けた対応策と次年度の各学びサポート協力校における研究テーマの検討
２	**第２回検討委員会**　　※学識経験者も参加 ①実施日　平成２８年２月１７日（水） ②内　容 ・事務局作成「研究のまとめ（１年目）」の検討
３	**研究のまとめ（１年目）の配布**

３　ひょうごつまずき状況調査

（１）ひょうごつまずき状況調査の実施にあたって

児童生徒のつまずきポイントを整理するとともに、つまずきの状況をより詳細に把握し、指導方法の工夫・改善につなげるため、「ひょうごつまずき状況調査」を実施した。調査の実施にあたっては、以下の４点を大切な視点とし、調査問題等を作成するとともに実施・分析を行った。

① 児童生徒のつまずきを解消するための指導方法や授業の工夫・改善につなげることができるような調査とすること

② 全国学力・学習状況調査に見られる児童生徒の課題やつまずきは、どの学年の段階からの課題となっているのか、また、その系統性が分析できるようできる限り複数学年で調査すること

③ 児童生徒のつまずきの要因が、どのような学習指導や指導体制、学習・生活習慣や経験等に関連しているのかが分析できるよう質問紙調査を併せて調査すること

④ これまでの全国学力・学習状況調査の結果に見られる課題にポイントを絞った調査とすること

（２）ひょうごつまずき状況調査実施に向けた取組

過去（平成 19 年度～26 年度）の全国学力・学習状況調査の教科に関する調査（小・中学校国語、算数・数学）における主として「知識」に関する問題（Ａ問題）において課題の見られた問題（Ｐ48～Ｐ55）を約 30 題抽出する。

↓

教科部会において、指導資料作成検討委員が上記の４つの大切な視点を踏まえ調査に向けた協議を行う。

①課題の見られた問題と各指導資料検討委員の経験、各学びサポート協力校の実態を出し合い、児童生徒のつまずきを協議

②各学びサポート協力校において、今後研究を進めていくことを踏まえ、各指導資料作成検討委員が作成する調査問題の領域を決定

↓

各指導資料作成検討委員による調査問題案と関連する質問紙調査案を作成

↓

教科部会において、作成した調査問題案と質問紙調査案を検討し、学識経験者の助言を受けて確定する。

①教科に関する調査【小・中学校国語・算数・数学】　②児童生徒質問紙調査【小学校・中学校】

③実施学年

↓

学びサポート協力校において、「ひょうごつまずき状況調査」の実施

（３）ひょうごつまずき状況調査実施概要

ア　調査の趣旨

全国学力・学習状況調査の結果から明らかとなった課題等を踏まえ、児童生徒のつまずきの状況を把握・分析し、つまずきの解消による学力の底上げを図るなど各市町や各学校における指導の工夫改善に役立てる。

イ　調査の内容

①　教科に関する調査

・　小学校は国語及び算数、中学校は国語及び数学を実施。
（各学びサポート協力校において指定された教科のみ実施）

・　小学校国語は、国語Ⅰ（主に全国学力・学習状況調査のＡ問題の内容）と国語Ⅱ（主に全国学力・学習状況調査のＢ問題の内容）を実施。
※実施は、児童の発達段階を考慮し、それぞれ１単位時間とした。

・　出題内容は、過去の全国学力・学習状況調査において課題の見られた問題を踏まえ、児童生徒のつまずきの状況を測る内容とした。

②　質問紙調査

教科に関する調査を実施する学年の全児童生徒を対象に、教科への学習状況や学習方法等に関する質問紙調査（児童生徒質問紙調査）を実施。

ウ　調査対象学年及び調査実施日

①　調査を実施した期間

平成２７年９月２４日（木）～１０月９日（金）

②　対象学年

・　小学校調査　　小学校第５・６学年

・　中学校調査　　中学校第１・２・３学年

エ　調査実施校及び実施児童生徒数

①　小学校（学びサポート協力校：各６校）

学年	対象児童数（人）	
	国語	算数
第５学年	３１８	３８１
第６学年	３３８	４０２
合計	６５６	７８３

②　中学校（学びサポート協力校：各６校）

学年	対象生徒数（人）	
	国語	数学
第１学年	５８０	９００
第２学年	６０８	８７３
第３学年	６８４	９０８
合計	１，８７２	２，６８１

オ　調査の方式

①　国語

・　小学校は同一の教科に関する調査と児童質問紙調査を第５・６学年で実施

・　中学校は同一の教科に関する調査と生徒質問紙調査を全学年で実施

②　算数・数学

・　小学校は同一の児童質問紙調査を第５・６学年で実施

・　中学校は同一の生徒質問紙調査を全学年で実施

・　教科に関する調査は、設問により以下の学年で実施（各学年ごとの分冊実施）

【教科に関する調査（算数・数学）各学年の設問設定】

	設問番号																							
小5	1 (1) (2)		1 (3)	2	3		4	5	6															
小6		1 (3)	1 (4)		3 (1)	3 (2) (3)				7														
中1											8	9	10		12									
中2											10	11	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
中3																						10	11	

カ　分析の視点

調査の分析にあたっては、以下の視点を中心にして、過去の全国学力・学習状況調査（以下全国調査）結果との関連も含めて行った。

①　教科での設問による正答状況・課題

②　領域による課題

③　教科での学年間における正答状況比較

④　教科の正答率と児童生徒質問紙との関連

⑤　教科の設問ごとの正答率と児童生徒質問紙との関連

キ　教科に関する調査結果

【　国　語　】

小学校	児童数(人)	平均正答数(問)	正答率(%)
全体	656	15.9	69.2
5年	318	15.0	65.4
6年	338	16.7	72.7

中学校	生徒数(人)	平均正答数(問)	正答率(%)
全体	1872	11.9	47.8
1年	580	10.6	42.5
2年	608	11.9	47.7
3年	684	13.1	52.2

【　算数・数学　】

小学校	児童数(人)	平均正答数(問)	正答率(%)
５年	381	6.3	56.9
６年	402	10.0	62.4

中学校	生徒数(人)	平均正答数(問)	正答率(%)
１年	900	14.8	49.3
２年	873	18.2	46.7
３年	908	20.0	57.1

４　ひょうごつまずき状況調査結果と分析（国語）

（１）教科に関する調査（国語）結果の主な特徴

ア　小学校

・直接的な問いにより適切な接続語を選択することや、叙述に沿って状況を読み取り、登場人物の相互関係から、適切な登場人物は誰かについて選択することは、相当数の児童ができている。

・文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って一文を二文に分けて書くこと、文を抜き出すこと、文を書くことには課題が見られる。文は句点で終わりを示す等、文の定義に対する理解が必要であると考えられる。

・話し合いの場面において、共通点や相違点に着目することや、意見を整理することに課題が見られる。話し合い活動を行う際、児童に意見を整理するための見通しや観点を示すことが必要であると考えられる。

イ　中学校

・文末の表現を整えることや、文意を捉えて条件を満たしながら記述することに課題が見られる。条件の設定や、観点を明確にして記述する活動の必要性が考えられる。

・文章全体の構成を捉え、内容を読み取るとともに、問いに対応した表現を行うことについて課題が見られる。文章の構成に関する理解や文章全体の要旨を捉えるとともに、問われていることを的確に読み取る力を育てる必要性が考えられる。

・文章と複数の資料を対応させ、読み取った情報の内容を適切に書くことに課題が見られる。複数の資料の積極的な活用や読み取ったことをまとめる活動の必要性が考えられる。

（２）領域別による課題等

ア　話すこと・聞くこと

・話し合い活動において、聞いている人が、分かりやすい話し方の方法についての理解に課題が見られる。〔小Ⅱ1一〕

・話し合い活動で出された意見を共通点や相違点等、決められた観点に沿ってまとめることに課題が見られる。〔小Ⅱ1三(1)ア、イ〕〔中2三〕

イ　書くこと

・一文に書かれてある内容を適切に捉え、二文に分けることに課題が見られる。その際、文末の表現を整えることに対しても、課題が見られる。〔中3一〕

・文意や要旨を捉え、条件を踏まえて問われていることに対して適切に記述することに課題が見られる。〔小Ⅱ1三(1)〕〔中3一(2)〕

ウ　読むこと

・複数の資料から、必要な情報を選択することに課題が見られる。〔中4一〕

・文章の構成についての理解や文章全体から必要な要素を見つけることに対して課題が見られる。〔中5〕

・叙述に沿って状況を読み取り、登場人物の相互関係を捉えて、適切な登場人物を選択することについては、相当数の児童ができている。〔小Ⅱ2〕

エ　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

・漢字の読みに対して、書くことに対する課題が見られるが、学年が上がるにつれて、改善が見られる。

・適切な接続語を選択する際、前後の文だけでなく、文章全体の構成から考えることに対する意識に課題が見られる。〔小Ⅰ2一イ〕

（３）学年間における正答状況の特徴的な設問

ア　学年間における正答状況の概要

・小学校、中学校とも学年が上がるにつれ正答率が上がっている。児童生徒のつまずきに対して、下位学年から系統的に取り組むことで、最高学年での理解がより深まると期待できる。

イ　学年間による正答状況に顕著な差が見られた設問

・新聞のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く設問では、小５(41.8%)と小６(61.2%)で 19.4%の差が見られた。

・「読む」領域についての設問では、化学反応に必要な物質を読みとり、適切に抜き出すこと、文章中の問題提起に対して説明をしている段落を選択する設問において、中１と中３の差が、それぞれ 21.8%、19.9%となった。〔中5一、三〕

（４）教科に関する調査と児童生徒質問紙調査のクロス集計における分析

ア　小学校

・話し合い活動における司会経験

「あなたは、話し合い活動で司会をよくしますか」という質問に対して、「よくしている」と回答した児童の正答率は小５(68.7%)、小６(85.7%)と高く、話し合いを進めたり、意見をまとめたりする活動をよく行うことの重要性が考えられる。

・「聞く」「読む」における目的意識

「あなたは、国語の授業で話を聞く時、話し手が言いたいことを整理しながら聞いていますか」に対して、「している」と回答した児童の正答率は小５(67.5%)、小６(80.8%)と高く、「あなたは物語を読むとき、登場人物どうしの関わりがどうなっているか、考えながら読んでいますか」に対して、「考えながら読んでいる」と回答した児童の正答率も小５(68.5%)、小６(79.3%)と高くなっているなど、目的意識をもって話を聞いたり、読んだりすることの重要性が考えられる。

イ　中学校

・主語と述語を意識した書く活動

「あなたは、文を書くときに、主語と述語がつながっているか、見直すようにしていますか」に対して、「そうしている」と回答した生徒の正答率は中１(47.0%)、中２(55.6%)、中３(60.7%)と高く、文を書く際、主語と述語がつながっているかを意識することの必要性が考えられる。

・自分で調べる活動の定着

「あなたは、学校の授業で分からないことがあったとき、どうすることが多いですか」に対して、「辞書やインターネットでなどを使って、自分で調べる」と回答した生徒の正答率は中１(46.5%)、中２(53.2%)、中３(58.3%)と「先生や友達に聞く」よりもやや高く、聞くだけでなく、自分で調べて問題を解決する活動の重要性が考えられる。

ウ　共通

・２つ以上の文を１つにまとめたり、１つの長い文を２つに分けて書いたりする活動

小学校、中学校とも、「あなたは、国語の授業でわかりやすい文章にするため、２つ以上の文を１つにまとめて書いたり、１つの長い文を２つに書き分けたりすることをしていますか」という質問に対して、「している」と回答した児童生徒の正答率は小５(71.3%)、小６(79.3%)、中１(46.6%)、中２(53.5%)、中３(61.2%)とそれぞれ各学年の正答率と比べて高くなっている。文の区切りを意識した学習活動の重要性が考えられる。

（５）教科に関する調査の設問間のクロス集計における分析

・共通点、相違点を意識した活動（話すこと・聞くこと、書くこと）

小学校「司会者として話し合い活動が計画的に進められるよう、互いの共通点と相違点に着目して意見を整理し、条件を踏まえて書く」について、共通点と相違点を問う連続する設問で両方正答している児童は全体の 28.4%、中学校「話し合いで出た意見の特徴を捉え、発言した人物を選ぶ」について、具体的な方法と提案の理由を述べている人物をそれぞれ選ぶ連続する設問について、両方正答している生徒は全体の 38.7%となっている。意見の特徴を捉えることについて、それぞれの発言の意味（提案・理由・具体的な例等）を考えたり、理解したりしながら聞くことに課題があると考えられる。意見の共通点や相違点を考えたり、明確にしたりする表現活動の必要性が考えられる。

（６）課題の見られた特徴的な問題

① 筆者が伝えたかったことについて、書かれている文の部分を抜き出す

・・・・【小学校Ⅰ 4 二（１）】

4 次は、マンガ家である手塚治虫さんが自分の子どものころをふり返って話した内容の一部です。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

ぼくが子供の頃から下手の横好きでマンガを描いていたことは、すでに何度もお話ししてきました。小学校のときに落書きみたいなマンガで紙芝居を描いて、学校へ持っていったり、近所の子供を集めて見せて、説明していたのです。しかし、その前に描いたマンガはまず母に見せたのです。母は見てくれました。ほんとうにうれしかったものです。

ところが三回目か、四回目から見てくれなくなって、「ああ、わかった、わかった」で終わってしまったのです。①これはほんとうにショックでした。そういう体験をぼくは持っているので、子供にとって、自分にとって大事件である発見とか発明、あるいは※2創作を親に持っていったときに、親が②通りいっぺんの生返事をしたり、無視したりせず、そこでちょっと励ましてやるとか、かかわってやることが、いかに力添えになるかということをぜひともお話ししておきたいのです。

（手塚治虫『ぼくのマンガ人生』による）

（注）※1「下手の横好き」…上手ではないのに、とても好きなこと。
※2「創作」……自分の考えをもとにして作った作品のこと。

一 （1） ① ――線部「これ」が指し示す内容が書かれた一文をさがし、初めと終わりの五字をぬき出しましょう。
なお、句読点も字数にふくみます。

□□□□□ ～ □□□□□

（2） ② ――線部「通りいっぺんの生返事」という表現は、本文中のどの部分を言いかえたものですか。言いかえた部分を本文中からぬき出して書きましょう。

□□□□□

二 （1） 筆者が最も伝えようとしていることが書かれている一文はどれですか。初めの五字をぬき出しましょう。

□□□□□

（2） 筆者が伝えたかったことをまとめたものとして、もっともふさわしいものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 子供は、親の態度を見てから、言うことを聞いたり、協力したりしようとするものだ。
2 子供は、自分の発見や発明などに対する親の真剣なかかわりから力を得るものだ。
3 子供は、自分がものを制作するときに、親に手伝ってほしいと思っているものだ。
4 子供は、自分にとっての大事件を親よりも友達に説明したがるものだ。

〈解答類型・反応率と課題〉

	解答類型	正答	全体	５年	６年
1	「そういう体」と解答しているもの	◎	42.5	33.3	51.2
9	上記以外の解答		48.0	54.4	42.0
0	無回答		9.5	12.3	6.8

○正答の解答類型１では、全体の正答率が 42.5%と国語全体の平均正答率（69.2%）と比べて、26.7%低く、５年生と６年生の差も 17.9%となっている。しかし、筆者が伝えたかったことを選択肢から、選ぶ設問では、正答率が 77.3%となっている。要旨が示されれば概ね適切に選択できるが、文章全体から、適切な部分を抜き出すときには課題が見られる。文が句点でおわりを示す等、文の定義に対する理解についての課題が考えられる。

〈関連する児童質問紙〉「そうしている」と回答した児童の正答率

質　問　項　目	全体	５年	６年
あなたは、文を書くときに主語と述語がつながっているか見直すようにしていますか。	71.1	67.1	74.5

② 司会者として、話し合いが計画的に進められるよう、互いの共通点と相違点に着目して意見を整理し、条件を踏まえて書く　・・・・【小学校Ⅱ 1 三（１）イ】

三　司会の池上さんは、出された発言に合わせて話し合いを進めています。次の問いに答えましょう。

（1）2ページの池上さんの［　　］の中の発言は、青山さんの意見と原田さんの意見に共通する点とちがう点を整理したものです。［ア・イ］の中に入るふさわしい内容を、次の条件に合わせ、発言の前後の言葉につながるようにしてそれぞれ書きましょう。

〈条件〉

○［ア・イ］には、それぞれ、次の［　　］の四つの言葉の中から二つずつ使って書くこと。
ただし、［　　］の四つの言葉は、一回しか使うことができません。

○［ア・イ］は、それぞれ、二十字以上、三十字以内にまとめて書くこと。

・男女二人
・ふき出し
・学級全員分
・かけ合いたい言葉

池上（司会）　みなさん、黒板を見て下さい。
青山さんの意見と原田さんの意見に共通する点は、旗の中に顔の絵を入れ、［ア］ということです。
ちがう点は、［イ］ということです。
ちがう点について意見を出してください。
岩村　質問があります。この旗は、いつも教室のかべにはっておくようにするのですか。
竹中　それは、今、話し合わなくてもよいと思います。
池上（司会）　ちょっと待って下さい。今の岩村さんの質問は、大事なことかもしれません。岩村さん、どうしてそのような質問をしたのですか。
岩村　行事のときなど、教室の外で旗を使うことも考えると、言葉や絵の入れ方もかわるのではないかと考えたからです。
池上（司会）　なるほど。岩村さんは、外で旗を使うことを考えると、言葉や絵をどのように入れたらよいと思いますか。
～　話し合いが続く　～

【記録係がまとめた黒板の一部】

条件①　［　　］の四つの言葉のうち、二つの言葉を選んで書いている。
条件②　「男女二人の顔の絵の口にふき出しを付けてかけ合いたい言葉を書くか、学級全員分の顔の絵の口にふき出しを付けてかけ合いたい言葉を書くか」ということに触れている。
条件③　２０字以上、３０字以内で書いている。

〈解答類型・反応率と課題〉

	解答類型	正答	全体	５年	６年
1	条件①、②、③のいずれもみたしているもの	◎	34.5	27.4	41.1
2	条件①、②のいずれも満たしているが、条件③は満たしていないもの		1.5	1.3	1.8
3	条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの		20.0	17.0	22.8
4	条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの		2.9	2.5	3.3
9	上記以外の解答		35.1	43.7	26.9
0	無解答		6.1	8.2	4.1

○正答の解答類型１では、５年生と６年生で正答率に 13.7%の差がある。解答類型３は、発言の相違点が適切に捉えた記述ができていない。話し合い活動において、司会者の役割や、発言者の意見を整理したり、比較したりする際に必要な、「発言の内容を的確に理解すること」について課題があると考えられる。前設問の共通点を記述する設問では、正答率が 50.6%と高くなっているが、５年生と６年生では、やはり差（10.9%）がある。

〈関連する児童質問紙〉「している」と回答した児童の正答率

質　問　項　目	全体	５年	６年
あなたは、国語の授業で話を聞くとき、話し手が言いたいことを整理しながら聞いていますか。	74.8	67.5	80.8

③　話し合いで発言した２人の意見の相違点を捉え、司会の発言の流れに沿った言葉を記述する　　・・・・【中学校２三】

2　次の、ある話し合いの一部分を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの一部分】

司会「生徒会の田中です。今年の生徒会の目標は、地域との交流になりました。地域の人と交流を深める取り組みとその方法について、話し合いたいと思います。まず、みなさんからどんな取り組みが考えられるか、意見を出してください。そのあと、実行の方法を考えていきたいと思います。では、意見のある人はどうぞ。」

上原「今、ぼくたちの中学校では、年に一回、地域のゴミを拾うボランティア活動を行っています。その活動に、地域の人たちもいっしょに参加してもらうのはどうでしょうか。」

川井「私は、もっと、学校での私たちの姿を見てもらいたいと思います。そこで、文化発表会に、地域の方をお招きしてはどうでしょうか。クラス合唱や文化部の取り組みなど、私たちの活動の成果を見てもらうことで、交流を深めることができると思います。」

山野「ぼくは、文化発表会をもっと盛り上げたいので、希望する生徒がステージ発表をする時間をとってほしいと思います。いくつかのグループが、ダンスや劇などを発表するのがいいと思います。」

司会「地域と交流を深めるための取り組みについて、意見を出してください。」

鈴木「地域で行われている催し物に、中学生が参加すればいいと思います。地域ではさまざまな催し物があるので、いつ、どこで、どんな行事があるのかを、校内にけい示し、参加者を募集するとよいのではないでしょうか。」

司会「上原さんと鈴木さんの意見は、中学生が地域に出て行く取り組みで、川井さんの意見は、地域の人たちを□取り組みですね。他に意見はありませんか。」

～　話し合いが続く　～

一　司会の工夫していた点にあてはまらないものを、次の１～４から一つ選びなさい。

1　話し合いがテーマに沿って進むよう発言している。
2　意見を出しやすいように感想を述べている。
3　出された意見をグループにまとめている。
4　はじめに話し合いの順序について述べている。

二　地域との交流を深める取り組みについての意見を述べている人物のうちで、次にあてはまる人物の名前をそれぞれ答えなさい。

（1）取り組みの具体的な方法を述べている人物。
（2）提案の理由をくわしく述べている人物。

三　□にあてはまる言葉を、十字以内で書きなさい。

〈解答類型・反応率と課題〉

	解答類型	正答	全体	１年	２年	３年
1	「学校に招待する」と解答しているもの	◎	40.4	30.7	42.3	46.9
2	「招待する」「文化発表会に招待する」等と解答しているもの		25.2	25.7	24.7	25.1
3	「成果を見せてもらう」「交流を深める」等と解答しているもの		9.1	10.0	8.2	9.2
4	川井さん以外の人の内容を解答しているもの		1.0	1.9	0.5	0.6
9	上記以外の解答		17.0	25.2	14.8	12.0
0	無解答		7.4	6.6	9.5	6.1

○正答の解答類型１では、１年生と３年生で正答率に16.2%の差がある。誤答の解答類型２は、招待する場所が明確になっておらず、校外に出かけることとの対比が捉えられていない。話し合い活動において、小学校と同様、発言者の意見を整理したり、比較したりする際に必要な「発言の内容を理解すること」について課題があると考えられる。

〈関連する児童質問紙〉「そうしている」と回答した生徒の正答率

質　問　項　目	全体	１年	２年	３年
あなたは、国語の授業で話し合い活動をするとき、発言の共通点やちがっている点に注意しながら、聞いていますか。	51.2	47.9	50.8	55.5

④　必要な情報を複数の表やグラフの中から読み取り、適切に記述する

・・・・【中学校4一】

4　次は、中学生と高校生の生活と意識調査について書いた文章とグラフの一部です。これらを読んであとの問に答えなさい。

【中学生と高校生の生活と意識調査について書いた文章】

「その日その日を、自由に楽しく過ごす」ことを理想とする中高生が多いのは、大人の目には気楽な快楽主義のようにも映ります。しかし、中高生はただ毎日を楽しんでいるわけではなく、打ちこめるものを持ち、今を充実させていることも今回の調査からわかりました。

「今、打ちこんでやれること」を自由回答でたずねた結果（図1）、中高生とも に「スポーツ」が突出して多く、「音楽」「勉強」が続いています。「スポーツ」が最も多い傾向はこの30年間変化がなく、「勉強」は中学生が10％弱、高校生は10％前後で推移しています。

興味深い変化は、打ちこめるものを「もっていない」人の減少です。時系列でみると、87年以降中高とも減る傾向にあります（図2）。今回は中高生とも25％と過去［　　］年で最も少なくなりました。逆に言うと、何かに打ちこめることがある中高生が増えているのです。

打ちこめることの有無と幸福感の関連をみると（図3）、打ちこめるものが「ある」人では「とても幸せだ」は52％と半数を超え、「ない」の39％を大きく上回っています。打ちこめることの「ある」人が増加していることが、中高生の幸福感の高まりの背景にあると考えられます。

幸せは何によって決まるのか。幸せに対する考え方や感じ方が多様化し、経済的豊かさだけでは測りきれないという認識が広がっています。

図1　今、打ちこんでやれること（自由回答）　（%）

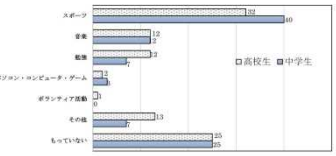


図2　今、打ちこんでやれること（「もっていない」）

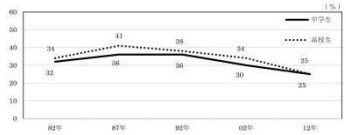
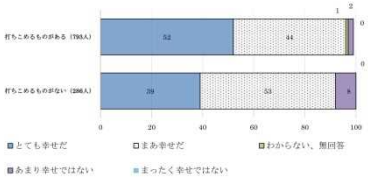


図3　幸福感＜打ちこめるものの有無別＞



（「NHK中学生・高校生の生活と意識調査’2012」―失われた20年が生んだ“幸せ”な十代―より）

一　【中学生と高校生の生活と意識調査について書いた文章】中の［　　］に入る数字を、文章と図から読み取って書きなさい。

二　この文章（12ページ）の論の進め方として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1　現代の中高生の理想とすることについて、調査を通して明らかにしようとしている。
2　今回の調査から、打ちこめることのある人の増減と幸福感の関連について意見を述べている。
3　調査の結果から見えてきた現代の中高生の問題点について、明らかにしようとしている。
4　調査の結果から、今、打ちこめることのある人の増減について意見を述べている。

〈解答類型・反応率と課題〉

	解答類型	正答	全体	１年	２年	３年
1	「３０」と解答しているもの	◎	38.2	29.3	37.2	46.6
2	「３０年」と「年」まで解答しているもの		0.4	0.9	0.3	0.0
9	上記以外の解答		56.3	65.2	56.3	48.8
0	無解答		5.1	4.7	6.3	4.5

○正答の解答類型１では、１年生と３年生で反応率に17.3%の差がある。設問では文章を読み取り、対応するグラフから、必要な情報を選択し、文章に当てはめることが求められるが、うまく活用できていない様子が考えられる。問われていることを理解し、それを解決するために必要な情報が何かについて考え、問いに対して適切に対応させることに課題があると考えられる。

〈関連する児童質問紙〉

「辞書やインターネットなどを使って、自分で調べる」と回答した生徒の正答率

質　問　項　目	全体	１年	２年	３年
あなたは、学校の授業の中で分からないことがあったとき、どうすることが多いですか。	53.0	46.5	53.2	58.3

(7)設問別集計結果概要

①小学校国語

学びサポート協力校(6校)	全体	5年	6年
児童数(人)	656	318	338
正答率(%)	69.2	65.4	72.7

設問番号		設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語文化と国語の特質	選択式	短答式	記述式	全体	5年	6年	全体	5年	6年
Ⅰ	1一	適切な接続語を選択する。(逆接)				○	○			98.3%	97.8%	98.8%	0.2%	0.3%	0.0%
	1二	適切な接続語を選択する。(順接)				○	○			97.9%	98.7%	97.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1三	適切な接続語を選択する。(累加)				○	○			99.5%	99.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2一ア	文と文との意味のつながりや文章全体における段落の役割の関係を考えながら、適切な言葉をそれぞれ選択する。				○	○			93.6%	92.8%	94.4%	0.3%	0.3%	0.3%
	2一イ					○	○			68.3%	70.4%	66.3%	0.2%	0.0%	0.3%
	2一ウ					○	○			93.9%	92.8%	95.0%	0.3%	0.3%	0.3%
	2二	文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って一文を二文に分けて書く。				○		○		27.7%	23.6%	31.7%	7.8%	8.5%	7.1%
	3	文章を推敲するために、文の構成や表現の効果を確かめて書き直した方が良い部分を見つける。		○			○			47.0%	40.9%	52.7%	0.3%	0.3%	0.3%
	4一(1)	指示語が指す内容を捉え、文を抜き出す。			○			○		51.8%	44.7%	58.6%	7.3%	9.1%	5.6%
	4一(2)	文章中の表現について、言い換えた部分を抜き出す。			○			○		64.0%	57.5%	70.1%	9.5%	12.3%	6.8%
	4二(1)	筆者が伝えたかったことについて書かれてる文の部分を抜き出す。			○			○		42.5%	33.3%	51.2%	9.5%	12.3%	6.8%
	4二(2)	筆者が伝えたかったことについて、まとめた適切な文を選択する。			○		○			77.3%	73.0%	81.4%	1.8%	3.1%	0.6%
	5	新聞の報道記事のリードに必要な事柄を整理し、一文にまとめて書く。		○					○	51.8%	41.8%	61.2%	3.8%	5.7%	2.1%
Ⅱ	1一	話し合いの参加者として好ましい話し方を選択する。	○				○			42.7%	38.4%	46.7%	0.8%	1.3%	0.3%
	1二	記録係として、発言の要点を聞き取り、理由と意見を整理して簡潔に書く。	○						○	56.3%	49.7%	62.4%	6.4%	6.9%	5.9%
	1三(1)ア	司会者として話し合いが計画的に進められるよう、互いの共通点と相違点に着目して意見を整理し、条件を踏まえて書く。	○						○	50.6%	45.0%	55.9%	5.0%	6.9%	3.3%
	1三(1)イ		○						○	34.5%	27.4%	41.1%	6.1%	8.2%	4.1%
	1三(2)	司会者の発言のねらいについて、適切な説明を選択する。	○				○			75.2%	70.4%	79.6%	1.2%	2.2%	0.3%
	2一	登場人物の気持ちを捉え、適切な接続助詞を選択する。			○		○			88.9%	87.1%	90.5%	0.2%	0.3%	0.0%
	2二ア	叙述に沿って状況を読み取り、登場人物の相互関係を捉えて、適切な登場人物を選択する。			○		○			85.7%	83.6%	87.6%	0.5%	0.3%	0.6%
	2二イ				○		○			86.6%	83.6%	89.3%	0.5%	0.3%	0.6%
	2二ウ				○		○			90.5%	89.6%	91.4%	0.5%	0.3%	0.6%
	2三	登場人物の心情についての話し合いの様子から、適切な叙述を文章から抜き出す。	○					○		66.6%	63.2%	69.8%	4.9%	6.0%	3.8%

②中学校国語

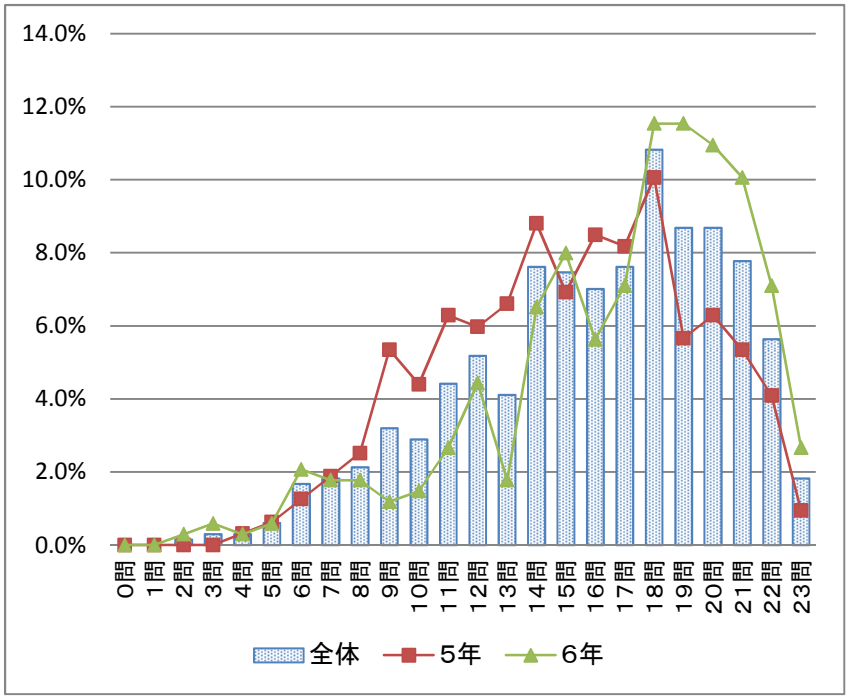
学びサポート協力校（6校）	全体	1年	2年	3年
生徒数（人）	1,872	580	608	684
正答率（%）	47.8	42.5	47.7	52.2

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域				問題形式			正答率（%）				無解答率（%）			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語文化と国語の特質	選択式	短答式	記述式	全体	1年	2年	3年	全体	1年	2年	3年
1一（1）	漢字を書く。（ショウタイ）				○		○		64.3%	57.2%	62.5%	71.9%	11.7%	12.2%	12.2%	10.8%
1一（2）	漢字を書く。（ア　びる）				○		○		61.1%	50.0%	63.0%	68.7%	19.0%	26.0%	15.5%	16.1%
1二（1）	漢字を読む。（険しい）				○		○		98.7%	99.1%	98.4%	98.7%	0.3%	0.3%	0.2%	0.4%
1二（2）	漢字を読む。（磁石）				○		○		98.4%	98.4%	98.4%	98.4%	0.4%	0.3%	0.5%	0.3%
1三（1）	慣用句として、適切な語句を選択する。（肩を並べる）				○	○			89.3%	83.3%	91.1%	92.7%	0.4%	0.3%	0.5%	0.3%
1三（2）	ことわざとして、適切な語句を選択する。（果報は寝て待て）				○	○			55.1%	52.4%	52.5%	59.6%	0.6%	0.7%	0.8%	0.4%
1三（3）	敬語として、適切な語句を選択する。（おっしゃいました）				○	○			72.8%	70.3%	69.9%	77.5%	0.4%	0.3%	0.5%	0.4%
1四	辞書に掲載されている意味を参考に、２つの言葉からなる語句の意味を書く。				○		○		38.2%	28.6%	35.9%	48.5%	7.2%	6.2%	9.0%	6.4%
2一	話し合いで司会が工夫していることについて、適切な発言を選択する。	○				○			60.5%	59.3%	59.2%	62.6%	0.6%	0.3%	1.2%	0.4%
2二（1）	話し合いで出た意見の特徴を捉え、発言した人物を選ぶ。（具体的な方法）	○					○		47.0%	40.3%	47.4%	52.3%	1.3%	1.0%	1.6%	1.2%
2二（2）	話し合いで出た意見の特徴を捉え、発言した人物を選ぶ。（提案の理由を述べている）	○					○		56.3%	52.1%	59.2%	57.3%	1.4%	0.9%	2.0%	1.5%
2三	話し合いで発言した２人の意見の相違点を捉え、司会の発言の流れに沿った言葉を記述する。	○					○		40.4%	30.7%	42.3%	46.9%	7.4%	6.6%	9.5%	6.1%
3一（1）	文末表現をそろえるため、不適切な箇所を選択し、正しい表現に修正する。		○			○	○		25.9%	26.4%	21.7%	29.1%	4.7%	4.1%	5.8%	4.2%
3一（2）条1	条件を踏まえ、接続語を使って、一文を二文に分ける。（文末を正しく書き直す）		○				○		18.2%	15.0%	17.1%	21.8%	16.2%	14.5%	19.1%	15.2%
3一（2）条2	条件を踏まえ、接続語を使って、一文を二文に分ける。（適切な接続語を書く）		○				○		49.4%	38.4%	53.0%	55.4%	17.0%	17.2%	18.1%	15.9%
3一（2）条3	条件を踏まえ、接続語を使って、一文を二文に分ける。（主語を補って書く）		○				○		4.2%	2.2%	4.9%	5.1%	39.0%	39.7%	41.3%	36.4%
3二（1）	意見文の表現の工夫について、適切な文を選択する。		○			○			53.5%	46.0%	54.4%	59.1%	3.3%	1.9%	4.3%	3.5%
3二（2）	意見文を直した意図を条件を踏まえて、記述する。		○					○	22.7%	22.2%	23.2%	22.7%	23.2%	17.1%	27.5%	24.7%
3三	校正の意図として、適切な文を選択する。		○			○			50.8%	44.7%	49.5%	57.2%	4.0%	2.9%	4.8%	4.2%
4一	必要な情報を複数の表やグラフの中から読み取り、適切に記述する。			○			○		38.2%	29.3%	37.2%	46.6%	5.1%	4.7%	6.3%	4.5%
4二	文章の論の進め方として、適切な文を選択する。			○		○			60.6%	56.0%	59.5%	65.5%	3.2%	1.7%	4.4%	3.2%
4三	文章を読んで感じたことを条件を踏まえて、記述する。		○					○	38.5%	35.0%	39.8%	40.4%	15.0%	13.8%	15.8%	15.4%
5一	科学反応に必要な物質を読み取り、適切に抜き出す。			○			○		27.0%	14.1%	29.3%	36.0%	10.6%	10.0%	12.3%	9.6%
5二	文章の構成を考え、段落が入る適切な場所を選択する。			○		○			34.2%	27.2%	36.3%	38.3%	7.7%	7.8%	10.4%	5.3%
5三	文章中の問題提起に対して、説明をしている段落を選択する。			○		○			41.0%	30.5%	40.3%	50.4%	8.5%	8.4%	11.3%	6.1%

（8）調査結果概況

①小学校国語

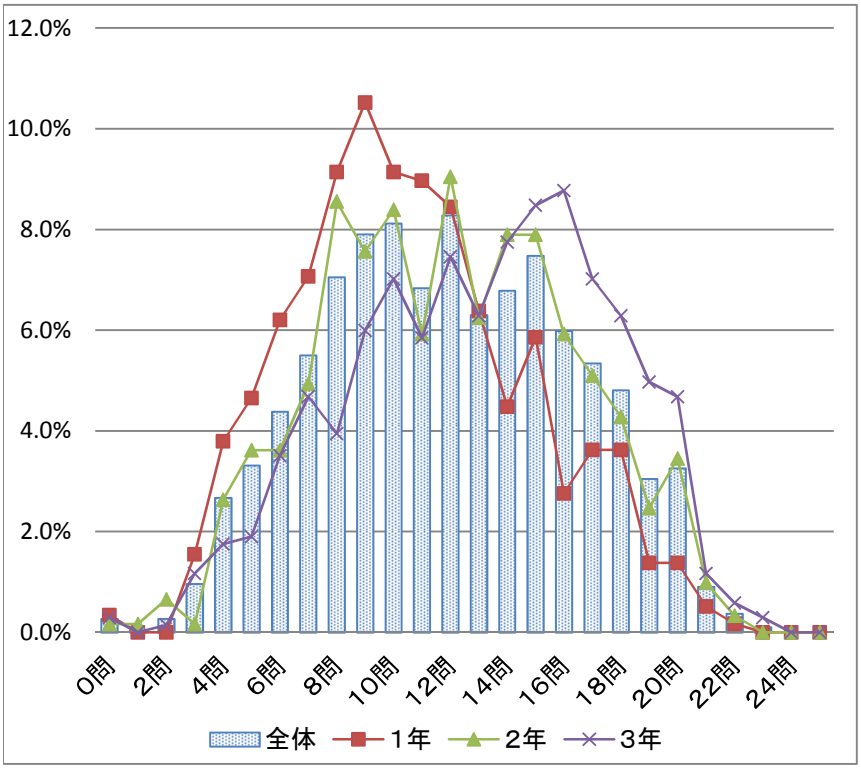
	児童数（人）	平均正答数（問）	正答率（%）
協力校	656	15.9	69.2%
5年	318	15.0	65.4%
6年	338	16.7	72.7%



問	全体	割合	5年 割合	6年 割合
0問	0	0.0%	0.0%	0.0%
1問	0	0.0%	0.0%	0.0%
2問	1	0.2%	0.0%	0.3%
3問	2	0.3%	0.0%	0.6%
4問	2	0.3%	0.3%	0.3%
5問	4	0.6%	0.6%	0.6%
6問	11	1.7%	1.3%	2.1%
7問	12	1.8%	1.9%	1.8%
8問	14	2.1%	2.5%	1.8%
9問	21	3.2%	5.3%	1.2%
10問	19	2.9%	4.4%	1.5%
11問	29	4.4%	6.3%	2.7%
12問	34	5.2%	6.0%	4.4%
13問	27	4.1%	6.6%	1.8%
14問	50	7.6%	8.8%	6.5%
15問	49	7.5%	6.9%	8.0%
16問	46	7.0%	8.5%	5.6%
17問	50	7.6%	8.2%	7.1%
18問	71	10.8%	10.1%	11.5%
19問	57	8.7%	5.7%	11.5%
20問	57	8.7%	6.3%	10.9%
21問	51	7.8%	5.3%	10.1%
22問	37	5.6%	4.1%	7.1%
23問	12	1.8%	0.9%	2.7%
	656			

②中学校国語

	生徒数（人）	平均正答数（問）	正答率（%）
協力校	1872	11.9	47.8%
1年	580	10.6	42.5%
2年	608	11.9	47.7%
3年	684	13.1	52.2%



	全体	割合	1年 割合	2年 割合	3年 割合
0問	5	0.3%	0.3%	0.2%	0.3%
1問	1	0.1%	0.0%	0.2%	0.0%
2問	5	0.3%	0.0%	0.7%	0.1%
3問	18	1.0%	1.6%	0.2%	1.2%
4問	50	2.7%	3.8%	2.6%	1.8%
5問	62	3.3%	4.7%	3.6%	1.9%
6問	82	4.4%	6.2%	3.6%	3.5%
7問	103	5.5%	7.1%	4.9%	4.7%
8問	132	7.1%	9.1%	8.6%	3.9%
9問	148	7.9%	10.5%	7.6%	6.0%
10問	152	8.1%	9.1%	8.4%	7.0%
11問	128	6.8%	9.0%	5.9%	5.8%
12問	155	8.3%	8.4%	9.0%	7.5%
13問	118	6.3%	6.4%	6.3%	6.3%
14問	127	6.8%	4.5%	7.9%	7.7%
15問	140	7.5%	5.9%	7.9%	8.5%
16問	112	6.0%	2.8%	5.9%	8.8%
17問	100	5.3%	3.6%	5.1%	7.0%
18問	90	4.8%	3.6%	4.3%	6.3%
19問	57	3.0%	1.4%	2.5%	5.0%
20問	61	3.3%	1.4%	3.5%	4.7%
21問	17	0.9%	0.5%	1.0%	1.2%
22問	7	0.4%	0.2%	0.3%	0.6%
23問	2	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%
24問	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25問	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1872				

（９）児童生徒質問紙〔回答結果集計〕

①児童質問紙（小学校）

学びサポート協力校（6校）	全体	5年	6年
児童数	656	318	338

質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		選択肢				無回答 その他
		そうしている	どちらかいえば、そうしている	どちらかといえば、そうしていない	そうしていない	
1	あなたは、普段自分が書いた文章を、読み返すようにしていますか。	269	254	96	35	2
		41.0%	38.7%	14.6%	5.3%	0.3%
		35.5%	39.9%	17.3%	6.6%	0.6%
		46.2%	37.6%	12.1%	4.1%	0.0%
2	あなたは、自分の考えを書くときに、（　、）や（　。）に気をつけて書いていますか。	336	236	67	16	1
		51.2%	36.0%	10.2%	2.4%	0.2%
		47.8%	37.4%	11.9%	2.5%	0.3%
		54.4%	34.6%	8.6%	2.4%	0.0%
3	あなたは、自分の考えを書くときに、「だから」や「しかし」などの接続語をよく使うようにしていますか。	275	271	98	11	1
		41.9%	41.3%	14.9%	1.7%	0.2%
		39.0%	39.3%	19.8%	1.6%	0.3%
		44.7%	43.2%	10.4%	1.8%	0.0%
4	あなたは、文を書くときに、主語（～は、～が）と述語（「～する」など、動作や状態(じょうたい)を表す言葉）が、つながっているか見直すようにしていますか。	158	260	180	57	1
		24.1%	39.6%	27.4%	8.7%	0.2%
		22.3%	39.0%	27.4%	11.0%	0.3%
		25.7%	40.2%	27.5%	6.5%	0.0%
5	あなたは、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて、書くようにしていますか。	261	277	95	22	1
		39.8%	42.2%	14.5%	3.4%	0.2%
		39.0%	42.5%	13.5%	4.7%	0.3%
		40.5%	42.0%	15.4%	2.1%	0.0%
質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		している	どちらかいえば、している	どちらかといえば、していない	していない	無回答 その他
6	あなたは、国語の授業でわかりやすい文章にするため、2つ以上の文を1つにまとめて書いたり、1つの長い文を2つに書きわけたりすることをしていますか。	154	236	202	63	1
		23.5%	36.0%	30.8%	9.6%	0.2%
		19.8%	35.8%	32.1%	11.9%	0.3%
		26.9%	36.1%	29.6%	7.4%	0.0%
7	あなたは、自分の考えを書くときに、「まず」や「次に」など順序を表す言葉を使うようにしていますか。	364	192	76	23	1
		55.5%	29.3%	11.6%	3.5%	0.2%
		56.3%	27.4%	10.7%	5.3%	0.3%
		54.7%	31.1%	12.4%	1.8%	0.0%
8	あなたは、国語の授業で書いた文章を友達と読み合ったり、助言し合ったりする活動をしていますか。	137	215	218	85	1
		20.9%	32.8%	33.2%	13.0%	0.2%
		19.5%	29.6%	36.8%	13.8%	0.3%
		22.2%	35.8%	29.9%	12.1%	0.0%

質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		そうしている	どちらかいえば、そうしている	どちらかといえば、そうしていない	そうしていない	無回答 その他
9	あなたは、国語の授業で話を聞くとき、話し手が言いたいことを整理しながら聞いていますか。	168	309	143	35	1
		25.6%	47.1%	21.8%	5.3%	0.2%
		23.9%	50.0%	19.8%	6.0%	0.3%
		27.2%	44.4%	23.7%	4.7%	0.0%
10	あなたは、話し合い活動で自分の考えを伝えるとき、考えの理由も相手に伝えるようにしていますか。	230	264	133	27	2
		35.1%	40.2%	20.3%	4.1%	0.3%
		37.1%	39.3%	20.4%	2.5%	0.6%
		33.1%	41.1%	20.1%	5.6%	0.0%
質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		使っている	どちらかいえば、使っている	どちらかといえば、使っていない	使っていない	無回答 その他
11	あなたは、物事を説明するとき、「まず」や「次に」など順序を表す言葉を使って説明していますか。	287	221	112	35	1
		43.8%	33.7%	17.1%	5.3%	0.2%
		41.5%	33.6%	17.6%	6.9%	0.3%
		45.9%	33.7%	16.6%	3.8%	0.0%
質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		よくしている	時々している	あまりしていない	していない	無回答 その他
12	あなたは、話し合い活動で司会をよくしますか。	63	186	257	147	3
		9.6%	28.4%	39.2%	22.4%	0.5%
		11.3%	30.8%	39.0%	18.2%	0.6%
		8.0%	26.0%	39.3%	26.3%	0.3%
質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		工夫するようにしている	どちらかといえば、工夫するようにしている	どちらかといえば、工夫するようにしていない	工夫するようにしていない	無回答 その他
13	あなたは、話し合い活動で司会をするとき、みんなの意見を整理したり、話題を確かめたりしながら話し合いがスムーズに進むよう工夫していますか。	137	287	162	65	5
		20.9%	43.8%	24.7%	9.9%	0.8%
		23.3%	43.1%	25.5%	7.2%	0.9%
		18.6%	44.4%	24.0%	12.4%	0.6%
質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		考えながら読んでいる	時々考えながら読んでいる	あまり考えながら読んでいない	考えながら読んでいない	無回答 その他
14	あなたは、物語を読むとき、登場人物どうしの関わりがどうなっているか、考えながら読んでいますか。	319	243	70	19	5
		48.6%	37.0%	10.7%	2.9%	0.8%
		43.7%	37.7%	13.2%	4.1%	1.3%
		53.3%	36.4%	8.3%	1.8%	0.3%
15	あなたは、物語を読むとき、登場人物の心情や心情の変化を考えながら読んでいますか。	245	263	114	28	6
		37.3%	40.1%	17.4%	4.3%	0.9%
		32.1%	41.5%	19.5%	5.7%	1.3%
		42.3%	38.8%	15.4%	3.0%	0.6%
質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合		よく使っている	時々使っている	あまり使っていない	使っていない	無回答 その他
16	あなたは、学校の授業や家で学習するとき、国語辞典を使って、意味調べをしていますか。	178	249	153	73	3
		27.1%	38.0%	23.3%	11.1%	0.5%
		28.3%	37.1%	22.0%	11.6%	0.9%
		26.0%	38.8%	24.6%	10.7%	0.0%
17	あなたは、話したり、書いたりするとき「これ」「それ」などの「こそあど言葉」を使っていますか。	281	237	105	30	3
		42.8%	36.1%	16.0%	4.6%	0.5%
		41.8%	36.2%	16.0%	5.0%	0.9%
		43.8%	36.1%	16.0%	4.1%	0.0%

②生徒質問紙（中学校）

学びサポート協力校（6校）	全体	1年	2年	3年
生徒数	1,872	580	608	684

質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		選択肢							無回答 その他
		そうしている	どちらかいえば、そうしている	どちらかといえば、そうしていない	そうしていない				
1	あなたは、普段自分が書いた文章を、読み返すようにしていますか。	659	711	353	144				5
		35.2%	38.0%	18.9%	7.7%				0.3%
		32.8%	42.2%	19.0%	5.9%				0.2%
		34.0%	35.7%	20.6%	9.5%				0.2%
		38.3%	36.4%	17.3%	7.6%				0.4%
2	あなたは、自分の考えを書くときに、「だから」や「しかし」などの接続語をよく使うようにしていますか。	704	790	288	87				3
		37.6%	42.2%	15.4%	4.6%				0.2%
		36.6%	43.6%	15.2%	4.5%				0.2%
		37.8%	41.4%	15.6%	4.9%				0.2%
		38.3%	41.7%	15.4%	4.5%				0.1%
3	あなたは、文を書くときに、主語と述語が、つながっているか見直すようにしていますか。	240	506	669	450				7
		12.8%	27.0%	35.7%	24.0%				0.4%
		9.7%	30.5%	38.8%	20.5%				0.5%
		10.0%	25.5%	35.7%	28.5%				0.3%
		18.0%	25.4%	33.2%	23.1%				0.3%
4	あなたは、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて、書くようにしていますか。	633	847	283	104				5
		33.8%	45.2%	15.1%	5.6%				0.3%
		32.8%	46.0%	17.1%	3.8%				0.3%
		34.5%	42.6%	14.8%	7.9%				0.2%
		34.1%	46.9%	13.7%	5.0%				0.3%
質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		している	どちらかいえば、している	どちらかといえば、していない	していない				無回答 その他
5	あなたは、国語の授業でわかりやすい文章にするため、2つ以上の文を1つにまとめて書いたり、1つの長い文を2つに書きわけたりすることをしていますか。	292	647	593	335				5
		15.6%	34.6%	31.7%	17.9%				0.3%
		18.3%	35.0%	32.8%	13.8%				0.2%
		15.3%	35.2%	28.6%	20.6%				0.3%
		13.6%	33.6%	33.5%	19.0%				0.3%
6	あなたは、自分の考えを書くときに、「まず」や「次に」など順序を表す言葉を使うようにしていますか。	719	603	368	177				5
		38.4%	32.2%	19.7%	9.5%				0.3%
		43.8%	32.2%	18.3%	5.7%				0.0%
		39.1%	31.9%	18.1%	10.5%				0.3%
		33.2%	32.5%	22.2%	11.7%				0.4%
7	あなたは、文を書くときに、読み手のことを意識して書くようにしていますか。	325	749	544	247				7
		17.4%	40.0%	29.1%	13.2%				0.4%
		18.3%	42.8%	28.6%	10.0%				0.3%
		17.3%	39.8%	26.3%	15.8%				0.8%
		16.7%	37.9%	31.9%	13.6%				0.0%
8	あなたは、国語の授業で書いた文章を友達と読み合ったり、助言し合ったりする活動をしていますか。	229	426	592	620				5
		12.2%	22.8%	31.6%	33.1%				0.3%
		17.4%	26.6%	30.5%	25.2%				0.3%
		10.2%	20.1%	30.9%	38.3%				0.5%
		9.6%	21.9%	33.2%	35.2%				0.0%

質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		そうしている	どちらかいえば、そうしている	どちらかといえば、そうしていない	そうしていない				無回答 その他
9	あなたは、国語の授業で話し合い活動をするとき、発言の共通点やちがっている点に注意しながら、聞いていますか。	371	727	543	223				8
		19.8%	38.8%	29.0%	11.9%				0.4%
		23.8%	40.3%	27.6%	8.1%				0.2%
		19.2%	39.8%	27.3%	13.0%				0.7%
		17.0%	36.7%	31.7%	14.2%				0.4%
10	あなたは、話し合い活動で自分の考えを伝えるとき、考えの理由も相手に伝えるようにしていますか。	490	806	414	156				6
		26.2%	43.1%	22.1%	8.3%				0.3%
		28.8%	45.2%	19.3%	6.4%				0.3%
		26.3%	42.3%	21.7%	9.0%				0.7%
		23.8%	42.0%	24.9%	9.4%				0.0%
質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		使っている	どちらかいえば、使っている	どちらかといえば、使っていない	使っていない				無回答 その他
11	あなたは、物事を説明するとき、「まず」や「次に」など順序を表す言葉を使って説明していますか。	557	661	417	235				2
		29.8%	35.3%	22.3%	12.6%				0.1%
		33.8%	37.4%	19.0%	9.8%				0.0%
		31.6%	33.2%	23.8%	11.0%				0.3%
		24.7%	35.4%	23.7%	16.2%				0.0%
質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		よくしていると思う	時々していると思う	あまりしていないと思う	していないと思う				無回答 その他
12	あなたは、授業中、司会を立てた話し合い活動をよくしていると思いますか。	162	535	676	494				5
		8.7%	28.6%	36.1%	26.4%				0.3%
		12.1%	36.6%	34.0%	16.9%				0.5%
		5.8%	25.7%	37.8%	30.4%				0.3%
		8.3%	24.4%	36.4%	30.8%				0.0%
質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		工夫するようにしている	どちらかといえば、工夫するようにしている	どちらかといえば、工夫するようにしていない	工夫するようにしていない				無回答 その他
13	あなたは、話し合い活動で司会をするとき、みんなの意見を整理したり、話題を確かめたりしながら話し合いがスムーズに進むよう工夫していますか。	233	736	549	349				5
		12.4%	39.3%	29.3%	18.6%				0.3%
		15.9%	43.6%	27.1%	13.3%				0.2%
		12.8%	37.8%	27.5%	21.4%				0.5%
		9.2%	37.0%	32.9%	20.8%				0.1%
質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		整理しながら読んでいる	時々整理しながら読んでいる	あまり整理しながら読んでいない	整理しながら読んでいない				無回答 その他
14	あなたは、国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を整理しながら読んでいますか。	505	821	401	138				7
		27.0%	43.9%	21.4%	7.4%				0.4%
		28.1%	44.5%	20.3%	6.7%				0.3%
		27.3%	43.4%	20.9%	7.6%				0.8%
		25.7%	43.7%	22.8%	7.7%				0.0%
質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		授業中に質問する	あとで先生に質問する	あとで友達に聞く	学校の先生や友達以外の人に聞く	辞書やインターネットなどを使って、自分で調べる	どうしたらいいか分からないので、そのままにすることが多い	あまり気にしないで、そのままにすることが多い	無回答 その他
15	あなたは、学校の授業の中で分からないことがあったとき、どうすることが多いですか。	195	204	794	169	241	113	144	12
		10.4%	10.9%	42.4%	9.0%	12.9%	6.0%	7.7%	0.6%
		11.0%	10.5%	45.9%	11.7%	12.2%	4.5%	4.0%	0.2%
		9.4%	8.4%	41.3%	7.7%	13.8%	7.2%	11.3%	0.8%
		10.8%	13.5%	40.5%	7.9%	12.6%	6.3%	7.6%	0.9%

質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		詩歌や物語などの文章についての勉強	説明や評論などの文章についての勉強	古典など伝統的な文章についての勉強	新聞やインターネット、図書室などを活用して、情報を比べたり、まとめたりする勉強				無回答その他
16	あなたは、国語のどんな勉強が好きですか。	708	217	214	712				21
		37.8%	11.6%	11.4%	38.0%				1.1%
		29.3%	6.7%	15.2%	47.9%				0.9%
		38.3%	11.7%	11.3%	37.2%				1.5%
		44.6%	15.6%	8.3%	30.4%				1.0%
質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合、5段目：3年生の生徒数の割合		先生の話を聞き、全体で授業を進める時間	グループなどで、話し合い活動を行う時間	自分の考えなどを書く時間	テストやワークシートなど問題をとく時間				無回答その他
17	あなたは、国語の授業でどんな学習の時間が好きですか。	666	833	168	195				10
		35.6%	44.5%	9.0%	10.4%				0.5%
		29.1%	48.4%	10.3%	11.6%				0.5%
		41.3%	41.3%	6.7%	10.2%				0.5%
		36.0%	44.0%	9.8%	9.6%				0.6%

５　ひょうごつまずき状況調査結果と分析（算数・数学）

（１）教科に関する調査（小学校算数・中学校数学）結果の主な特徴

ア　小学校

・商が１より小さくなる等分除「(整数)÷(整数)」の場面で、除法を用いて立式することに課題が見られる。数量の関係を表現している図や表を正しく解釈することや、何が被除数で、何が除数かをとらえて立式できるようにすることが必要であると考えられる。

・場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解することに課題が見られる。基準量、比較量、割合の三つを、図と対応させてとらえることが必要であると考えられる。

イ　中学校

・問題場面に即して方程式をつくるとき、数量関係を文字式に表すことに課題が見られる。問題文から必要な情報を読み取ること、数式を文章として読み取ることが必要であると考えられる。

・空間図形における長さの関係を見取図から読み取ることに課題が見られる。空間図形を平面上の見取図に表したとき、長さや角度は等しく表現されないことがあることを理解することが必要であると考えられる。

（２）領域別による課題等

ア　小学校

（ア）数と計算

・整数と小数の計算で商とあまりを求めることに課題が見られる。〔小５$\boxed{1}$(3)、小６・中１$\boxed{1}$(4)〕

（イ）量と測定

・単位量当たりの大きさについて、その比べ方や表し方を理解することに課題が見られる。〔小６$\boxed{7}$〕

（ウ）図形

・合同な三角形をかくために必要な条件を理解することに課題が見られる。〔小６$\boxed{4}$〕

（エ）数量関係

・割合の意味を理解し、百分率で割合を表現することに課題が見られる。〔小６$\boxed{3}$(2)〕

イ　中学校

（ア）数と式

・等式を目的に合うように変形することに課題が見られる。〔中２・３$\boxed{2}$(1)〕

（イ）図形

・底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係の理解に課題が見られる。〔中３$\boxed{7}$(3)〕

（ウ）関数

・一次関数の表から、ｘとｙの関係を式で表すことに課題が見られる。〔中３$\boxed{9}$(4)〕

（エ）資料の活用

・与えられた度数分布表、ヒストグラム、数値から相対度数を求めることに課題が見られる。（度数分布表）〔中３$\boxed{3}$(1)〕（ヒストグラム）〔中３$\boxed{3}$(2)〕

（３）学年間における正答状況の特徴的な設問

ア　学年間における正答状況の概要

・小学校、中学校とも、学年が上がるにつれ平均正答率が高くなるが、学年が上がっても平均正答率がほぼ同じ問題や低くなっている問題がある。学年が上がるにつれ平均正答率が高くなる問題については、児童・生徒のつまずきに対して、下の学年から系統的に取り組むことで、上の学年での理解がより深まると期待できる。

・中学校では、小学校の学習内容である数を四捨五入して概数で表すこと、具体的な事象における２つの数量関係について比例、反比例の関係を読み取ることに課題が見られる。小学校算数と中学校数学の関連や連携に配慮することが必要であると考えられる。

イ　学年間による正答状況に顕著な差が見られた設問

・減法と乗法の混合した整数の計算では、小５(70.1%)と小６(71.6%)はほぼ同じ正答率であるが、中１では87.2%となり、相当数の生徒ができている。〔小５・小６・中１$\boxed{1}$(1)〕

・整数と小数の計算で商とあまりを求める計算では、小５(47.2%)、小６(34.6%)、中１(19.4%)と学年が上がるにつれて平均正答率が低くなっている。〔小５$\boxed{1}$(3)、小６・中１$\boxed{1}$(4)〕

・商が１より小さくなる等分除の場面で除法を用いる設問では、小５(39.1%)、小６(49.3%)、中１(43.8%)と正答率にばらつきが見られた。「(整数)÷(整数)」の除法では、被除数の方が除数より大きくなると考え立式したり、問題文に出てきた順に立式したりしていると考えられる。

〔小５・６・中１$\boxed{2}$(1)②〕

・示された割合を基に基準量と比較量の関係を表している図を選択する設問では、平均正答率が小６では49.3%であるが、中１は34.0%と15.3%低くなっている。小学校では、学習時期の関係から、「倍」という表現を含む文章から、「○は□の△倍である」といった数量関係を適切にとらえる学習をよく行っていることが、小６と中１との正答率に差が見られることにつながっていると考えられる。〔小６・中１$\boxed{3}$(3)①〕

・等式を変形してｘについて解く設問では、平均正答率が中１(22.2%)、中２(42.0%)で 19.8%の差が見られた。〔中１・中２$\boxed{2}$(1)〕

・与えられた数値から相対度数を求める設問では、中１(16.2%)、中２(29.0%)、中３(45.5%)と学年が上がるにつれて平均正答率が高くなっている。〔中１$\boxed{12}$(3)、中２・３$\boxed{3}$(3)〕

（４）教科に関する調査と児童生徒質問紙調査のクロス集計における分析

・図にわかったことを書き加える活動

「あなたは、算数(数学)の授業で問題に図があったとき、その図にわかったことなどを書き加えていますか」という質問に対して、「よく書き加えている」と回答した児童生徒は小５(62.5%)、小６(68.5%)、中１(50.6%)、中２(55.3%)、中３(66.4%)とそれぞれの学年の平均正答率と比べて高く、与えられた情報に自分なりの工夫を付け加えることの有効性が考えられる。

・適用題による学習内容の定着

「あなたは、一日の算数（数学）の授業で今日学習したことを使って、ちがう問題に取り組む活動をしていると思いますか」という質問に対して、「よくしていると思う」と回答した児童生徒は小５(63.3%)、小６(69.5%)、中１(53.9%)、中２(54.2%)、中３(65.8%)とそれぞれの学年の平均正答率と比べて高い。

また、「あなたは、数学の授業でどのような学習活動がわかりやすいと感じますか」という質問に対して、「授業で学習したことを使って、別の問題をする活動」と回答した生徒は中１(55.6%)、中２(54.3%)、中３(63.8%)とそれぞれの学年の平均正答率と比べて高く、授業の最後に適用題に取り組むことにより、学習内容が定着したり、生徒がわかりやすいと感じたりすることに結びついていると考えられる。

（５）教科に関する調査の設問間クロス集計における分析

・場面から数量の関係を捉え、除法を用いて式で表現する活動の充実

小５、小６、中１の$\boxed{2}$(1)「１２ｍの重さが６kgの棒があります。この棒１ｍの重さは何kgですか。」について、①「数量関係を正しく表した図を選ぶ」と②「式と答えを書く」の両方に正答している児童生徒は、全体の 40.9%となっている。①の正答率が 81.3%で相当数の児童生徒ができているにもかかわらず、①②で両方正答している児童生徒が40.9%となっていることから、数量関係を正しく表した図を選んだことが正しく立式することに結び付けられていない児童生徒が多いと考えられる。商が１より小さくなる等分除「(整数)÷(整数)」の場面では、何が被除数で、何が除数かをとらえて立式できるようにすることが必要であるので、示された数量を図に表す活動を取り入れ、数量の関係を捉えられるようにすることが大切であると考えられる。

（６）課題の見られた特徴的な問題

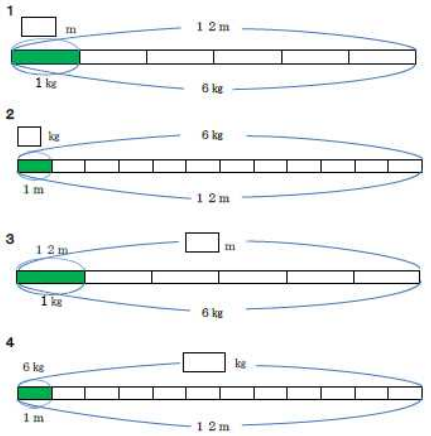
① 商が１より小さくなる等分除「(整数)÷(整数)」の場面で、除法を用いて答えを求める ・・・・【小学校５・６年・中学校１年 2 (1)②】

2

次の問題に答えましょう。

（1）１２ｍの重さが６kgの棒（ぼう）があります。この棒１ｍの重さは何kgですか。

① この問題の場面を正しく表している図はどれですか。
下の 1 から 4 までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。



② 棒１ｍの重さを求める式と答えを書きましょう。

〈解答類型・反応率と課題〉

解答類型		正答	全体	小５	小６	中１
1	６÷１２＝０．５　と解答しているもの	◎	42.8	39.1	48.5	41.8
2	６÷１２＝$\frac{6}{12}$　と解答しているもの（大きさの等しい分数を含む）	◎	1.2	0.0	0.7	2.0
3	６÷１２＝２　と解答しているもの		0.4	0.5	0.0	0.4
4	６÷１２で上記以外の解答をしているもの		1.0	1.3	0.5	1.1
5	１２÷６＝２　と解答しているもの		46.1	48.0	44.5	46.0
6	１２×６，６×１２　と解答しているもの		1.1	1.3	1.0	1.0
9	上記以外の解答		3.8	5.5	3.5	3.2
0	無解答		3.6	4.2	1.2	4.4

○ ①の「この問題場面の数量関係を正しく表した図を選ぶ」問題では、全体の正答率が 81.3%と相当数の児童生徒ができているが、②の「求める式と答えを書く」問題では、全体の正答率が 44.0%である。数量関係を正しく表した図を選んだことが正しく立式することに結び付けられていないと考えられる。

○ 式を「１２÷６」と解答した解答類型５の反応率が高い。「(整数)÷(整数)」の除法では、被除数の方が除数より大きくなると考え、１２÷６と立式したり、問題文に出てきた順に立式したりしていると考えられる。

〈関連する児童生徒質問紙〉「よくしていると思う」と回答した児童・生徒の平均正答率

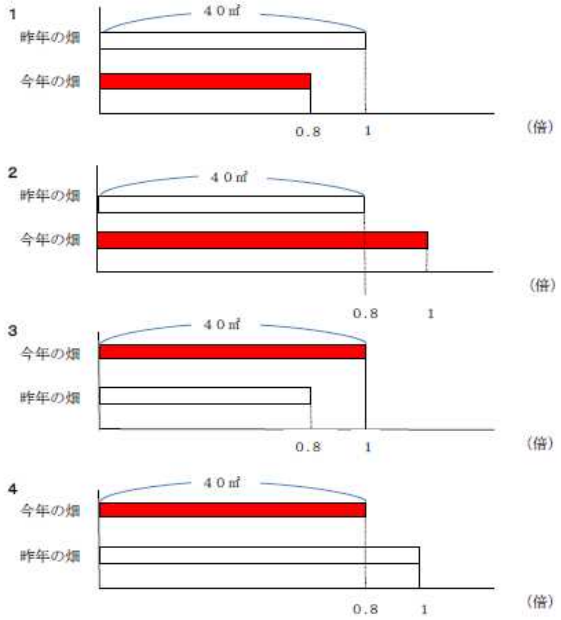
質問項目	小５	小６	中１	中２	中３
あなたは、一日の算数（数学）の授業で今日学習したことを使って、ちがう問題に取り組む活動をしていると思いますか	63.3	69.5	53.9	54.2	65.8

②　場面と関連付けて、二つの数量の関係を表している図を選ぶ

・・・・【小学校６年･中学校１年 3 (3)①】

（３）今年の畑の面積は４０㎡です。
今年の畑の面積は，昨年の畑の面積の０．８倍です。

① 今年の畑と昨年の畑の面積の関係を正しく表している図はどれですか。
下の **1** から **4** までの中から１つ選んで，その番号を書きましょう。



② 昨年度の畑の面積は何㎡ですか。求める式と答えを書きましょう。

〈解答類型・反応率と課題〉

解答類型		正答	全体	小６	中１
1	**1**　と解答しているもの		12.4	9.7	13.7
2	**2**　と解答しているもの		11.6	8.2	13.1
3	**3**　と解答しているもの		35.1	32.1	36.4
4	**4**　と解答しているもの	◎	38.7	49.3	34.0
9	上記以外の解答		0.3	0.0	0.4
0	無解答		1.8	0.7	2.3

○　ここでは、基準量（基準にする大きさ）、比較量（割合に当たる大きさ）、割合の三つを、図と対応させることが求められている。全体の正答率は 38.7%であり、場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解することに課題があると考えられる。小学校では、「倍」という表現を含む文章から、「○は□の△倍である」といった数量関係を適切にとらえる学習をよく行っていることが、小学校６年と中学校１年との正答率に差が見られることにつながっていると考えられる。

○　解答類型３の反応率が高い。「今年の畑」と「昨年の畑」のどちらが基準量であるか正しく判断できていないと考えられる。また、文章に「倍」という表現が含まれていることから、乗法と判断していることも考えられる。

〈関連する児童生徒質問紙〉「そうしている」と回答した児童の平均正答率

質問項目	小５	小６
あなたは、算数の授業で問題を考えるときには、答えがどれくらいになるか見通しをもって考えていますか。	64.3	68.3

③　一元一次方程式をつくって、問題を解決するために数量関係を文字式に表す

・・・・【中学校２・３年4(3)】

4

次の（1）から（3）までの各問いに答えなさい。

問題

家から１５００ｍ離れた学校に向かって，弟が家を出発しました。兄が弟の忘れ物に気づいて，弟が出発してから１０分後に，同じ道を自転車で追いかけました。
弟は分速５０ｍ，兄は分速１５０ｍで進むとすると，兄が弟に追いつくのは兄が出発してから何分後ですか。
兄が出発してから，x分後に弟に追いつくものとして考えます。

（1）速さ，時間，道のりの関係が正しく表されている式を，下の**ア**から**エ**までの中から１つ選びなさい。

ア　（速　さ）＝（道のり）×（時　間）

イ　（時　間）＝（速　さ）×（道のり）

ウ　（道のり）＝（速　さ）×（時　間）

エ　（速　さ）＝（時　間）÷（道のり）

（2）この問題について，Ａさんは次のように考えました。

兄が出発するとき，弟の歩く速さと歩いた時間で考えると，兄と弟との差は５００ｍになります。
兄は毎分１００ｍずつ弟に追いつくので，このことを次のような表にして，何分後に弟に追いつくか考えます。

兄が家を出発してからの時間(分)	0	1	…	(　)
兄と弟との間の距離（m）	５００	４００	…	0

表の（　　）に当てはまる数を求めなさい。

（3）兄に追いつかれるまでに弟が進んだ道のりを，xを使って表しなさい。

（4）この問題を解くために，方程式を作ります。

問題の数量のうち，弟に追いつくまでに兄が自転車で進む［　　］と，兄に追いつかれるまでに弟が進む［　　］は等しいので，方程式は
１５０x＝［（3）の解答］となります。

２つの［　　］には同じ言葉が入ります。［　　］に当てはまる言葉を書きなさい。

〈解答類型・反応率と課題〉

	解答類型	正答	全体	中２	中３
1	５０（x＋１０）と解答しているもの	◎	19.9	16.8	22.8
2	５０x　と解答しているもの		12.9	8.5	17.2
3	５０（x－１０）と解答しているもの		0.2	0.2	0.2
4	１５０x　と解答しているもの		0.6	0.5	0.8
9	上記以外の解答		39.4	41.0	37.9
0	無解答		27.0	33.0	21.1

○　問題解決の場面で方程式を利用する場合、問題の中にある数量の関係をとらえて、式をつくることが必要である。そのためには、ある数量に着目して、等しい関係を意識して方程式を作ることを理解することが大切である。全体の正答率は、19.9%であり、数量関係を文字式に表すことに課題がある。

○　これまでの全国学力・学習状況調査の課題として、文章問題から必要なキーワードを読み取れていない、数式を文章として読み取れないことが挙がっているが、「５０x」と解答した解答類型２の全体の反応率は 12.9%である。(1)の「(道のり)＝(速さ)×(時間)」を選ぶ問題では、全体の正答率が 77.1%と相当数の生徒ができていることから、公式に問題文の中にある「分速５０ｍ」と「x分後」を当てはめて答えた生徒が多いと考えられる。

〈関連する児童生徒質問紙〉

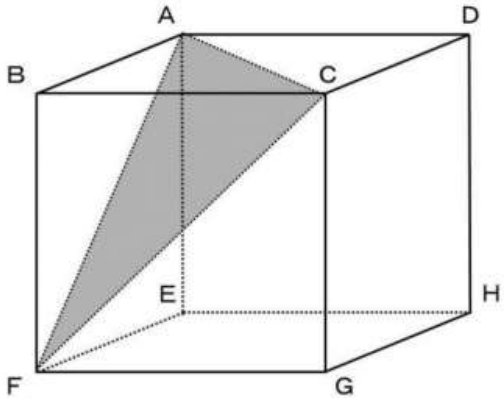
「授業で学習したことを使って、別の問題をする活動」と回答した生徒の平均正答率

質問項目	中１	中２	中３
あなたは、数学の授業でどのような学習活動がわかりやすいと感じますか	55.6%	54.3%	63.8%

④　空間図形における長さの関係を見取図から読み取る

・・・・【中学校２・３年 6 (2)】

（２）下の図は立方体の見取図です。
この立方体の頂点ＡＣＦで切り取った断面部分の面ＡＣＦがどんな三角形になるかについて，下の**ア**から**エ**までの中から正しいものを１つ選びなさい。



ア　正三角形

イ　直角三角形

ウ　二等辺三角形

エ　直角二等辺三角形

〈解答類型・反応率と課題〉

解答類型		正答	全体	中２	中３
1	**ア**　と解答しているもの（正三角形）	◎	17.3	16.0	18.5
2	**イ**　と解答しているもの（直角三角形）		7.4	8.6	6.2
3	**ウ**　と解答しているもの（二等辺三角形）		60.4	58.3	62.3
4	**エ**　と解答しているもの（直角二等辺三角形）		10.6	11.1	10.1
9	上記以外の解答		0.2	0.3	0.1
0	無解答		4.2	5.6	2.8

○　全体の正答率は 17.3%であり、空間図形の見取図から対角線の長さを読み取ることに課題がある。

○　見取図から必要な情報を的確に読み取ることは、立体の頂点や辺の位置関係など空間図形の性質を考察したり、実生活において空間を認識したりするのに必要であるが、「二等辺三角形」と解答した解答類型３の全体の反応率が、60.4%と非常に高い。見た目の長さだけで判断した生徒が多くいると考えられる。また、立方体が「６つの正方形で囲まれた立体図形である」という性質に基づいて、正方形の対角線の長さを判断することができていないと考えられる。

〈関連する児童生徒質問紙〉「よく書き加えている」と回答した児童・生徒の平均正答率

質問項目	小５	小６	中１	中２	中３
あなたは、算数（数学）の授業で問題に図があったとき、その図にわかったことなどを書き加えていますか	62.5%	68.5%	50.6%	55.3%	66.4%

（7）設問別集計結果概要　［小学校算数・中学校数学］

学びサポート協力校（6校）	小5	小6	中1	中2	中3
児童生徒数（人）	381	402	900	873	908
正答率（%）	56.9	62.4	49.3	46.7	57.1

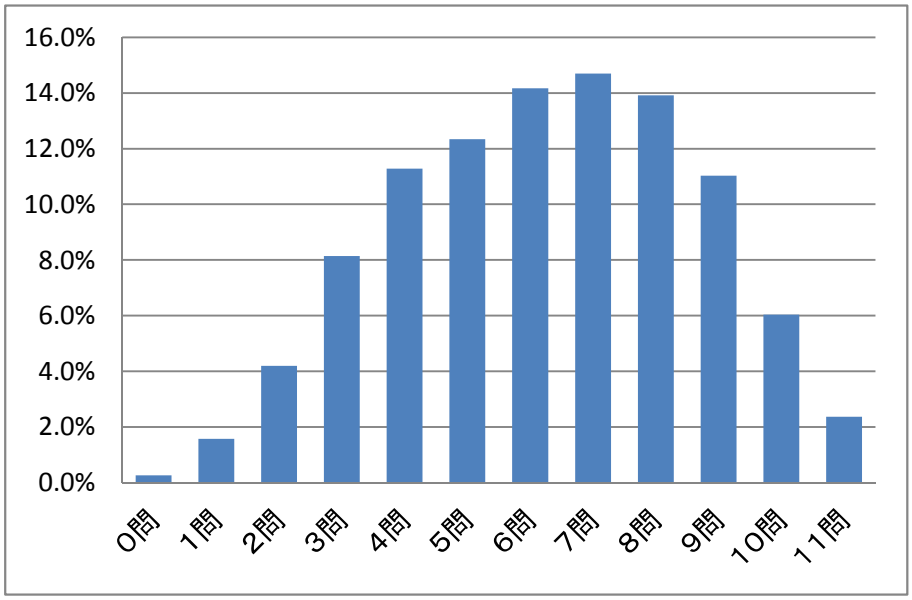
設問番号					設問の概要	学習指導要領の領域								問題形式			正答率（%）						無解答率（%）					
						小学校				中学校																		
小5	小6	中1	中2	中3		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	全体	小5	小6	中1	中2	中3	全体	小5	小6	中1	中2	中3
1(1)	1(1)	1(1)			100－20×2を計算する				○						○		79.6%	70.1%	71.6%	87.2%			0.1%	0.3%	0.0%	0.1%		
1(2)	1(2)	1(2)			8．29－4．7を計算する	○									○		78.2%	65.9%	81.3%	82.0%			0.7%	0.5%	0.0%	1.0%		
	1(3)	1(3)			5／6÷2を計算する	○									○		85.4%		90.0%	83.3%			1.5%		0.2%	2.0%		
1(3)	1(4)	1(4)			5÷0．6を計算する（商を一の位まで求め，あまりも求める）	○									○		29.4%	47.2%	34.6%	19.4%			3.3%	1.6%	2.7%	4.2%		
2(1)①	2(1)①	2(1)①			12mの重さが6kgの棒1mの重さを求める数量関係を正しく表した図を選ぶ	○								○			81.3%	80.1%	85.1%	80.1%			0.7%	1.0%	0.2%	0.8%		
2(1)②	2(1)②	2(1)②			12mの重さが6kgの棒1mの重さを求める式と答えを書く	○									○		44.0%	39.1%	49.3%	43.8%			3.6%	4.2%	1.2%	4.4%		
2(2)	2(2)	2(2)			0．8mが200円のリボン1mの値段を求める式と答えを書く	○									○		65.1%	57.5%	76.4%	63.3%			8.0%	4.2%	1.5%	12.4%		
3	3(1)	3(1)			じゃがいも畑の面積30㎡が、玉ねぎ畑の面積10㎡の何倍かを求める式を選ぶ	○								○			83.8%	79.8%	87.6%	83.8%			0.5%	0.0%	0.0%	1.0%		
	3(2)	3(2)			玉ねぎ畑の面積10㎡が、学校の畑の面積40㎡のどれだけの割合に当たるかを選ぶ				○					○			54.3%		56.2%	53.4%			1.0%		0.0%	1.4%		
	3(3)①	3(3)①			今年の畑の面積40㎡が昨年度の畑の面積の0．8倍にあたるとき、2つの畑の広さの関係を表している図を選ぶ	○								○			38.7%		49.3%	34.0%			1.8%		0.7%	2.3%		
	3(3)②	3(3)②			今年の畑の面積40㎡は昨年度の畑の面積の0．8倍にあたるとき、昨年度の畑の面積を求める式と答えを書く	○									○		40.7%		50.7%	36.2%			5.9%		0.7%	8.2%		
4	4	4			合同な三角形をかくための条件を選ぶ			○						○			53.2%	52.2%	67.9%	47.1%			1.5%	0.5%	0.0%	2.7%		
5	5	5			ひし形の作図に用いられる道具を選ぶ			○						○			68.9%	69.3%	76.1%	65.6%			0.8%	0.3%	0.0%	1.4%		
6(1)	6(1)	6(1)			面積が約112㎠であるものを選ぶ		○							○			24.4%	23.9%	29.1%	22.4%			1.2%	0.8%	0.0%	1.9%		
6(2)	6(2)	6(2)			1㎡、1㎢、1a（1アール）、1ha（1ヘクタール）の大きさと、それを表す正方形の一辺の長さを正しく表しているものを選ぶ		○							○			44.7%	40.9%	52.2%	43.0%			1.7%	1.3%	0.0%	2.7%		
	7	7			AとBの2つの部屋の込み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ		○							○			36.1%		41.3%	33.8%			1.4%		0.2%	1.9%		
		8(1)	10(1)		比例の関係について、【　　】の中に正しい言葉を書く				○						○		43.3%			39.6%	47.1%		18.3%			12.0%	24.9%	
		8(2)	10(2)		2量の比例の関係を使って、求める式と答え（およその数量）を書く	○			○						○		25.4%			30.9%	19.7%		30.4%			22.3%	38.7%	
		8(3)	10(3)			○			○						○		11.7%			15.4%	7.9%		42.0%			33.8%	50.4%	
		9(1)	11(1)		それぞれの事象について、比例、反比例の関係を読み取り、記号を書く				○						○		29.0%			30.9%	27.0%		7.4%			3.1%	11.9%	
		9(2)	11(2)						○						○		44.3%			46.2%	42.4%		7.5%			3.1%	12.0%	
		9(3)	11(3)						○						○		56.5%			54.8%	58.3%		7.4%			3.1%	11.9%	
		9(4)	11(4)						○						○		56.0%			52.7%	59.5%		7.5%			3.2%	11.9%	
		9(5)	11(5)						○						○		54.7%			58.2%	51.1%		7.7%			3.2%	12.3%	
		9(6)	11(6)						○						○		58.6%			62.1%	55.0%		7.8%			3.3%	12.4%	
		10(1)	1(1)	1(1)	5＋3×（－8）を計算する					○					○		76.8%			71.8%	76.3%	82.4%	2.2%			3.8%	1.5%	1.2%
		10(2)	1(2)	1(2)	n が負の数のとき、最も大きな数を選ぶ					○				○			70.4%			59.9%	71.9%	79.3%	2.1%			3.4%	2.1%	0.9%
			2(1)	2(1)	等式を変形して、x について解く					○					○		32.3%				22.2%	42.0%	26.6%				33.7%	19.8%
			2(2)	2(2)	等式から、x：y を求める					○					○		7.2%				4.0%	10.2%	43.0%				49.0%	37.1%

設問番号					設問の概要	学習指導要領の領域								問題形式			正答率（%）						無解答率（%）					
						小学校				中学校																		
小5	小6	中1	中2	中3		数と計算	量と測定	図形	数量関係	数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式	全体	小5	小6	中1	中2	中3	全体	小5	小6	中1	中2	中3
		12(1)	3(1)	3(1)	生徒30人の学習時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める								○		○		48.0%			34.3%	45.6%	63.8%	16.5%			18.4%	19.1%	12.1%
		12(2)	3(2)	3(2)	中学生の通学時間の分布を表したヒストグラムから、ある階級の相対度数を求める								○		○		43.0%			28.7%	40.0%	60.1%	22.4%			24.3%	27.4%	15.6%
		12(3)	3(3)	3(3)	中学生の数学のテスト結果から、ある階級の相対度数を求める								○		○		30.3%			16.2%	29.0%	45.5%	27.5%			29.2%	32.4%	21.1%
			4(1)	4(1)	速さ，時間，道のりの関係が正しく表されているものを選ぶ		○							○			77.1%				71.0%	82.9%	3.3%				4.4%	2.2%
			4(2)	4(2)	表から、兄が弟に追いつく時間を求める					○					○		79.6%				77.0%	82.0%	6.4%				7.8%	5.1%
			4(3)	4(3)	ｘを使って，兄に追いつかれるまでに弟が進んだ道のりを表す					○					○		19.9%				16.8%	22.8%	27.0%				33.0%	21.1%
			4(4)	4(4)	方程式を作るために2通りに表せる数量が，道のりであることを答える					○					○		70.7%				67.1%	74.2%	11.8%				14.3%	9.4%
			5(1)①	5(1)①	生徒の人数に着目して，2通りに表せる数量を立式する					○					○		62.0%				56.0%	67.8%	14.5%				19.1%	10.0%
			5(1)②	5(1)②						○					○		61.1%				54.9%	67.1%	16.3%				21.3%	11.6%
			5(1)③	5(1)③						○					○		52.0%				45.5%	58.3%	25.0%				31.2%	19.1%
			5(2)	5(2)	問題を解決するために数量の関係をとらえ，2通りに表せる数量が生徒の人数であることを答える					○					○		17.0%				13.2%	20.7%	33.0%				38.8%	27.4%
			6(1)	6(1)	ねじれの位置を答える						○				○		78.0%				75.5%	80.4%	5.1%				7.0%	3.3%
			6(2)	6(2)	対角線の長さを比較し答える						○			○			17.3%				16.0%	18.5%	4.2%				5.6%	2.8%
			7(1)	7(1)	円錐の見取図，展開図からおうぎ形の半径の長さを求める						○				○		53.3%				47.9%	58.6%	16.9%				21.3%	12.7%
			7(2)	7(2)	展開図で示された立方体について，2つの面の位置関係（面と面の平行）をとらえることができるかどうかをみる						○			○			87.4%				86.8%	87.9%	3.9%				5.4%	2.5%
			7(3)	7(3)	円柱，円錐の容器から円柱に入っている水の量を求める						○			○			36.4%				28.1%	44.5%	6.5%				9.5%	3.5%
			8(1)①	8(1)①	ｘやｙに値を代入した結果を，表やグラフ上に表す							○			○		66.7%				60.6%	72.6%	15.3%				17.9%	12.8%
			8(1)②	8(1)②								○			○		63.4%				57.8%	68.8%	16.2%				18.7%	13.8%
			8(1)③	8(1)③								○			○		65.8%				60.7%	70.7%	17.6%				20.3%	15.1%
			8(1)④	8(1)④								○			○		57.1%				52.8%	61.2%	23.6%				27.4%	19.9%
			8(2)①	8(2)①								○			○		53.3%				53.2%	53.4%	18.0%				20.2%	15.9%
			8(2)②	8(2)②								○			○		44.8%				41.4%	48.0%	20.9%				23.0%	18.9%
			9(1)	9(1)	一次関数の表から、ｘの値が1ずつ増えるときのｙの値を求める							○			○		87.4%				85.3%	89.4%	8.5%				10.1%	6.9%
			9(2)	9(2)	一次関数の表から、変化の割合を求める							○			○		52.0%				52.1%	51.9%	24.5%				25.7%	23.5%
			9(3)	9(3)	表を基に，ｘの増加量，ｙの増加量をグラフ上に表す							○			○		2.6%				3.0%	2.2%	34.4%				36.9%	31.9%
			9(4)	9(4)	一次関数の表から式を求める							○			○		44.5%				40.1%	48.8%	32.9%				35.7%	30.2%
				10(1)	合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ			○						○			67.3%					67.3%	5.1%					5.1%
				10(2)	三角形の合同条件を選ぶ						○			○			82.4%					82.4%	4.5%					4.5%
				11(1)	平行四辺形の性質を記号を使って表す						○				○		53.1%					53.1%	18.4%					18.4%
				11(2)①	二等辺三角形の底角が等しいことを証明できていないものを選ぶ						○			○			72.9%					72.9%	7.9%					7.9%
				11(2)②	二等辺三角形の底角が等しいことを証明できていない理由を説明する						○					○	6.9%					6.9%	22.2%					22.2%

（８）調査結果概況　小学校算数（５年）

①小学校算数(5年)

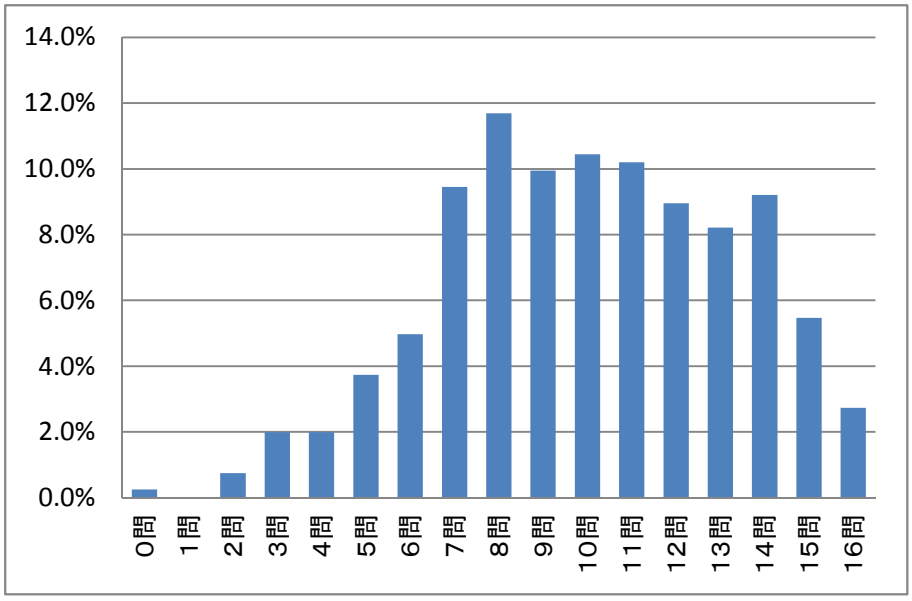
児童数(人)	平均正答数(問)	正答率(%)
381	6.3	56.9%



問	5年	割合
0問	1	0.3%
1問	6	1.6%
2問	16	4.2%
3問	31	8.1%
4問	43	11.3%
5問	47	12.3%
6問	54	14.2%
7問	56	14.7%
8問	53	13.9%
9問	42	11.0%
10問	23	6.0%
11問	9	2.4%
	381	

②調査結果概況　小学校算数(6年)

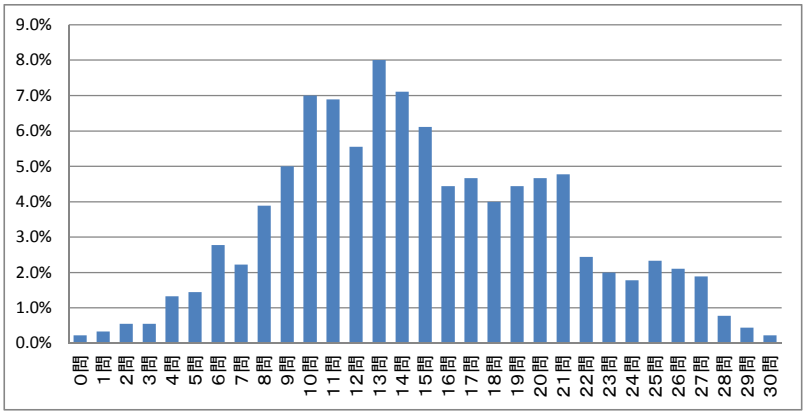
児童数(人)	平均正答数(問)	正答率(%)
402	10.0	62.4%



問	6年	割合
0問	1	0.2%
1問	0	0.0%
2問	3	0.7%
3問	8	2.0%
4問	8	2.0%
5問	15	3.7%
6問	20	5.0%
7問	38	9.5%
8問	47	11.7%
9問	40	10.0%
10問	42	10.4%
11問	41	10.2%
12問	36	9.0%
13問	33	8.2%
14問	37	9.2%
15問	22	5.5%
16問	11	2.7%
	402	

③調査結果概況　中学校数学（1年）

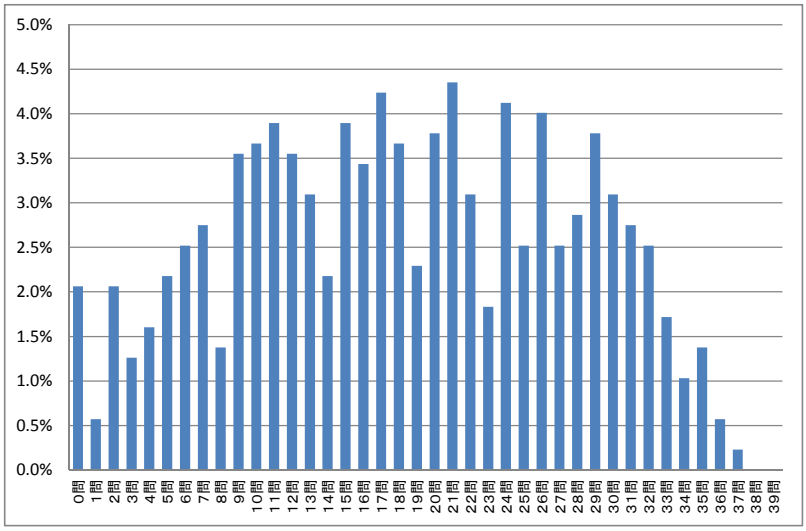
生徒数（人）	平均正答数（問）	正答率（%）
900	14.8	49.3%



問	1年	割合	問	1年	割合
0問	2	0.2%	16問	40	4.4%
1問	3	0.3%	17問	42	4.7%
2問	5	0.6%	18問	36	4.0%
3問	5	0.6%	19問	40	4.4%
4問	12	1.3%	20問	42	4.7%
5問	13	1.4%	21問	43	4.8%
6問	25	2.8%	22問	22	2.4%
7問	20	2.2%	23問	18	2.0%
8問	35	3.9%	24問	16	1.8%
9問	45	5.0%	25問	21	2.3%
10問	63	7.0%	26問	19	2.1%
11問	62	6.9%	27問	17	1.9%
12問	50	5.6%	28問	7	0.8%
13問	72	8.0%	29問	4	0.4%
14問	64	7.1%	30問	2	0.2%
15問	55	6.1%		900	

④調査結果概況　中学校数学（2年）

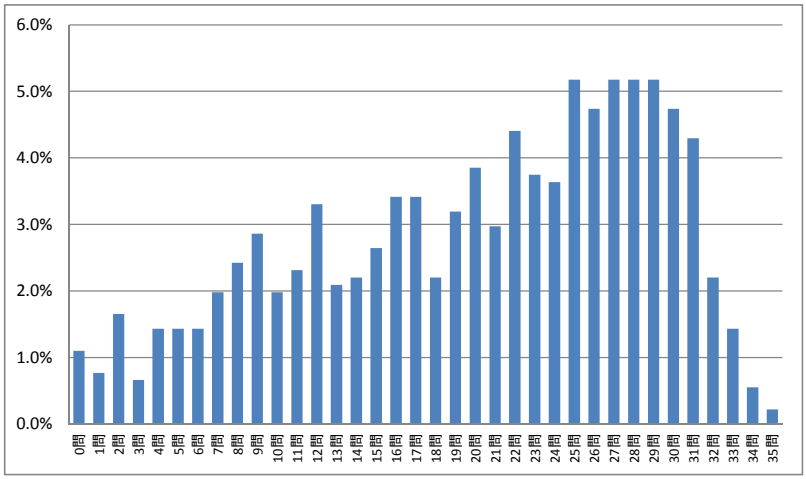
生徒数（人）	平均正答数（問）	正答率（%）
873	18.2	46.7%



問	2年	割合	問	2年	割合
0問	18	2.1%	21問	38	4.4%
1問	5	0.6%	22問	27	3.1%
2問	18	2.1%	23問	16	1.8%
3問	11	1.3%	24問	36	4.1%
4問	14	1.6%	25問	22	2.5%
5問	19	2.2%	26問	35	4.0%
6問	22	2.5%	27問	22	2.5%
7問	24	2.7%	28問	25	2.9%
8問	12	1.4%	29問	33	3.8%
9問	31	3.6%	30問	27	3.1%
10問	32	3.7%	31問	24	2.7%
11問	34	3.9%	32問	22	2.5%
12問	31	3.6%	33問	15	1.7%
13問	27	3.1%	34問	9	1.0%
14問	19	2.2%	35問	12	1.4%
15問	34	3.9%	36問	5	0.6%
16問	30	3.4%	37問	2	0.2%
17問	37	4.2%	38問	0	0.0%
18問	32	3.7%	39問	0	0.0%
19問	20	2.3%		873	
20問	33	3.8%			

⑤調査結果概況　中学校数学（3年）

生徒数（人）	平均正答数（問）	正答率（%）
908	20.0	57.1%



問	3年	割合	問	3年	割合
0問	18	2.1%	18問	38	4.4%
1問	5	0.6%	19問	27	3.1%
2問	18	2.1%	20問	16	1.8%
3問	11	1.3%	21問	36	4.1%
4問	14	1.6%	22問	22	2.5%
5問	19	2.2%	23問	35	4.0%
6問	22	2.5%	24問	22	2.5%
7問	24	2.7%	25問	25	2.9%
8問	12	1.4%	26問	33	3.8%
9問	31	3.6%	27問	27	3.1%
10問	32	3.7%	28問	24	2.7%
11問	34	3.9%	29問	22	2.5%
12問	31	3.6%	30問	15	1.7%
13問	27	3.1%	31問	9	1.0%
14問	19	2.2%	32問	12	1.4%
15問	34	3.9%	33問	5	0.6%
16問	30	3.4%	34問	2	0.2%
17問	37	4.2%	35問	0	0.0%
				908	

（９）児童生徒質問紙〔回答結果集計〕

①児童質問紙（小学校）

学びサポート協力校（6校）	全体	5年	6年
児童数	783	381	402

質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		無回答その他
1	あなたは、算数の授業で「なぜそうなるのか」理由を説明する活動を行っていると思いますか。	241	330	182	30		0
		30.8%	42.1%	23.2%	3.8%		0.0%
		33.1%	43.3%	20.5%	3.1%		0.0%
		28.6%	41.0%	25.9%	4.5%		0.0%
2	あなたは、算数の授業でノートに「なぜそうなるのか」理由を書く活動を行っていると思いますか。	204	357	188	34		0
		26.1%	45.6%	24.0%	4.3%		0.0%
		27.6%	47.0%	20.5%	5.0%		0.0%
		24.6%	44.3%	27.4%	3.7%		0.0%
3	あなたは、算数の授業でノートに友達の考えの良さを書く活動を行っていると思いますか。	143	283	261	96		0
		18.3%	36.1%	33.3%	12.3%		0.0%
		18.4%	36.0%	33.3%	12.3%		0.0%
		18.2%	36.3%	33.3%	12.2%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	そうしている	どちらかといえば、そうしている	どちらかといえば、そうしていない	そうしていない		無回答その他
4	あなたは、算数の授業で問題を考えるときには、答えがどれくらいになるか見通しをもって考えていますか。	325	322	114	22		0
		41.5%	41.1%	14.6%	2.8%		0.0%
		41.7%	42.0%	12.9%	3.4%		0.0%
		41.3%	40.3%	16.2%	2.2%		0.0%
5	あなたは、算数の授業で問題を考えるときには、出てきた答えが、明らかにちがっていないかもう一度見直していますか。	408	255	94	26		0
		52.1%	32.6%	12.0%	3.3%		0.0%
		52.8%	31.0%	12.1%	4.2%		0.0%
		51.5%	34.1%	11.9%	2.5%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	機会がよくある	ときどき機会がある	あまり機会がない	機会がない		無回答その他
6	あなたは、ふだんの生活で、お買い物やおこづかいなどで、自分でお金にふれる機会がありますか。	304	351	102	26		0
		38.8%	44.8%	13.0%	3.3%		0.0%
		34.1%	44.6%	17.6%	3.7%		0.0%
		43.3%	45.0%	8.7%	3.0%		0.0%

質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	考えている	どちらかといえば、考えている	どちらかといえば、考えていない	考えていない		無回答その他
7	あなたは、ふだんの生活の中で身のまわりにある割合の表現（2割引、10%増量など）について、実際に計算していくらになるか考えていますか。	193	238	228	124		0
		24.6%	30.4%	29.1%	15.8%		0.0%
		24.4%	31.2%	30.7%	13.6%		0.0%
		24.9%	29.6%	27.6%	17.9%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	よく想像している	ときどき想像している	あまり想像したことがない	想像したことがない		無回答その他
8	あなたは、量や重さ、長さなどが数字で表されているのを見たとき、実際にはどのくらいになりそうか、いつも想像していますか。	185	382	180	36		0
		23.6%	48.8%	23.0%	4.6%		0.0%
		22.0%	52.0%	22.0%	3.9%		0.0%
		25.1%	45.8%	23.9%	5.2%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	そうしている	どちらかといえば、そうしている	どちらかといえば、そうしていない	そうしていない		無回答その他
9	あなたは、文章問題をとくときに、「わかっていること」「たずねられていること」に線を引くなどで明らかにしてから、問題をといていますか。	121	268	265	129		0
		15.5%	34.2%	33.8%	16.5%		0.0%
		17.8%	37.0%	32.3%	12.9%		0.0%
		13.2%	31.6%	35.3%	19.9%		0.0%
10	あなたは、文章問題に小数や分数が出てきたとき、簡単な数字におきかえて考えていますか。	312	288	138	45		0
		39.8%	36.8%	17.6%	5.7%		0.0%
		39.6%	37.3%	17.8%	5.2%		0.0%
		40.0%	36.3%	17.4%	6.2%		0.0%
11	あなたは、文章問題をとくときに、1つの方法だけでなく、いろいろな方法でとくことをしていますか。	195	286	247	55		0
		24.9%	36.5%	31.5%	7.0%		0.0%
		24.9%	37.0%	30.7%	7.3%		0.0%
		24.9%	36.1%	32.3%	6.7%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	よく書き加えている	ときどき書き加えている	あまり書き加えていない	書き加えていない		無回答その他
12	あなたは、算数の授業で問題に図があったとき、その図にわかったことなどを書き加えていますか。	251	317	160	55		0
		32.1%	40.5%	20.4%	7.0%		0.0%
		26.5%	43.3%	22.3%	7.9%		0.0%
		37.3%	37.8%	18.7%	6.2%		0.0%

質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	よくしていた	どちらかといえば、していた	どちらかといえば、していない	していない		無回答その他
13	あなたは、小さい頃、ブロックや積み木遊びをよくしましたか。	505	209	55	14		0
		64.5%	26.7%	7.0%	1.8%		0.0%
		61.9%	27.8%	7.6%	2.6%		0.0%
		66.9%	25.6%	6.5%	1.0%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	よくある	ときどきある	あまりない	ない		無回答その他
14	あなたは、円をかく以外にコンパスを使うことがありますか。	229	336	164	54		0
		29.2%	42.9%	20.9%	6.9%		0.0%
		26.8%	43.3%	22.6%	7.3%		0.0%
		31.6%	42.5%	19.4%	6.5%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	よくしていると思う	ときどきしていると思う	あまりしていないと思う	していないと思う		無回答その他
15	あなたは、一日の算数の授業で今日学習したことを使って、ちがう問題に取り組む活動をしていると思いますか。	95	306	298	84		0
		12.1%	39.1%	38.1%	10.7%		0.0%
		12.6%	42.3%	36.7%	8.4%		0.0%
		11.7%	36.1%	39.3%	12.9%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	考えている	どちらかといえば、考えている	どちらかといえば、考えていない	考えていない		無回答その他
16	あなたは、算数で新しい問題を考えるとき、これまでに習ったことを使って考えていますか。	412	306	53	11		0
		52.6%	39.1%	6.8%	1.4%		0.1%
		52.2%	39.1%	6.6%	1.8%		0.3%
		53.0%	39.1%	7.0%	1.0%		0.0%
質問番号	質問項目 1段目：全体の児童数、2段目：全体の児童数の割合 3段目：5年生の児童数の割合、4段目：6年生の児童数の割合	先生が説明しているのを聞く活動	自分一人で考えたり、問題をといたりする活動	ペアやグループで友達と相談したり、話し合ったりする活動	クラスで自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりする活動	授業で学習したことを使って、別の問題をする活動	無回答その他
17	あなたは、算数の授業でどのような学習活動が一番好きですか。	50	213	345	77	98	0
		6.4%	27.2%	44.1%	9.8%	12.5%	0.0%
		6.3%	28.1%	44.4%	11.0%	10.2%	0.0%
		6.5%	26.4%	43.8%	8.7%	14.7%	0.0%

②生徒質問紙（中学校）

学びサポート協力校（6校）	全体	1年	2年	3年
生徒数	2,681	900	873	908

質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	選択肢 そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		無回答 その他
1	あなたは、数学の授業で「なぜそうなるのか」理由を説明する活動を行っていると思いますか。	749	999	626	303		4
		27.9%	37.3%	23.3%	11.3%		0.1%
		25.7%	36.9%	25.8%	11.7%		0.0%
		26.7%	35.2%	24.3%	13.5%		0.3%
		31.4%	39.6%	20.0%	8.8%		0.1%
2	あなたは、数学の授業でノートに「なぜそうなるのか」理由を書く活動を行っていると思いますか。	432	994	809	441		5
		16.1%	37.1%	30.2%	16.4%		0.2%
		19.4%	34.9%	31.2%	14.4%		0.0%
		12.1%	35.3%	31.5%	20.7%		0.3%
		16.6%	41.0%	27.9%	14.3%		0.2%
3	あなたは、数学の授業でノートに友達の考えの良さを書く活動を行っていると思いますか。	172	484	939	1080		6
		6.4%	18.1%	35.0%	40.3%		0.2%
		9.1%	23.4%	35.8%	31.7%		0.0%
		4.7%	14.2%	34.1%	46.6%		0.3%
		5.4%	16.4%	35.1%	42.7%		0.3%
質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		無回答 その他
4	あなたは、学校の授業でコンピュータを使って、表やグラフを作成することをしていると思いますか。	358	393	487	1433		10
		13.4%	14.7%	18.2%	53.5%		0.4%
		13.3%	12.6%	16.4%	57.7%		0.0%
		17.9%	15.7%	15.6%	50.4%		0.5%
		9.0%	15.7%	22.4%	52.2%		0.7%
5	あなたは、学校の授業で実験したり、調べたりした結果を表やグラフに表す活動を行っていると思いますか。	841	802	556	474		8
		31.4%	29.9%	20.7%	17.7%		0.3%
		24.6%	28.8%	23.8%	22.9%		0.0%
		33.4%	29.0%	20.0%	17.0%		0.6%
		36.1%	31.9%	18.4%	13.2%		0.3%
6	あなたは、学校の授業でいくつかのグラフや表から情報を読み取ったり、比べたりする活動を行っていると思いますか。	710	1088	600	277		6
		26.5%	40.6%	22.4%	10.3%		0.2%
		21.2%	38.2%	25.9%	14.7%		0.0%
		29.7%	39.6%	21.9%	8.4%		0.5%
		28.6%	43.8%	19.4%	7.9%		0.2%
質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	よくある	ときどきある	あまりない	ない		無回答 その他
7	あなたは、普段の生活で新聞や本などにグラフがあったとき、じっくりと見ることがありますか。	334	861	794	686		6
		12.5%	32.1%	29.6%	25.6%		0.2%
		17.4%	36.2%	24.2%	22.0%		0.1%
		8.7%	26.5%	34.1%	30.4%		0.3%
		11.1%	33.5%	30.6%	24.6%		0.2%

質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない		無回答 その他
8	あなたは、数学の学習の中で計算問題は取り組みやすいと思いますか。	1119	907	413	237		5
		41.7%	33.8%	15.4%	8.8%		0.2%
		45.6%	31.9%	14.6%	7.9%		0.1%
		34.0%	34.6%	19.6%	11.3%		0.5%
		45.4%	35.0%	12.2%	7.4%		0.0%
9	あなたは、数学の授業で、ノートに平面や立体の図形をかく活動を行っていると思いますか。	811	904	655	304		7
		30.2%	33.7%	24.4%	11.3%		0.3%
		16.9%	25.9%	35.0%	22.2%		0.0%
		32.8%	36.2%	22.8%	7.7%		0.6%
		41.1%	39.1%	15.5%	4.1%		0.2%

質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	問題に出てくる数字を使って、とにかく式をつくる	これまでに学習した考え方を組み合わせて考えてみる	問題に出てくる数字を簡単な整数や文字におきかえて考えてみる	図や表をかいて考えてみる	あまり深く考えず、そのままにしてしまう	無回答 その他
10	あなたは、すぐに解き方がわからない難しい問題をとくとき、どのようにすることが多いですか。	620	718	422	484	428	9
		23.1%	26.8%	15.7%	18.1%	16.0%	0.3%
		26.0%	29.6%	19.6%	13.9%	11.0%	0.0%
		21.2%	26.5%	15.3%	16.0%	20.4%	0.6%
		22.1%	24.3%	12.3%	24.1%	16.6%	0.4%

質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	そうしている	どちらかといえば、そうしている	どちらかといえば、そうしていない	そうしていない		無回答 その他
11	あなたは、問題をとくときに、1つの方法だけでなく、いろいろな方法でとくことをしていますか。	476	1000	822	378		5
		17.8%	37.3%	30.7%	14.1%		0.2%
		21.7%	40.2%	26.8%	11.3%		0.0%
		13.5%	33.6%	35.4%	17.1%		0.5%
		18.0%	38.0%	30.0%	14.0%		0.1%

質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	よく書き加えている	ときどき書き加えている	あまり書き加えていない	書き加えていない		無回答 その他
12	あなたは、数学の授業で問題に図があったとき、その図にわかったことなどを書き加えていますか。	781	905	589	399		7
		29.1%	33.8%	22.0%	14.9%		0.3%
		21.4%	36.9%	26.2%	15.2%		0.2%
		18.9%	34.5%	25.4%	20.8%		0.3%
		46.6%	30.0%	14.4%	8.8%		0.2%

質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	よくしていた	どちらかといえば、していた	どちらかといえば、していない	していない		無回答 その他
13	あなたは、小さい頃、ブロックや積み木遊びをよくしましたか。	1361	826	313	172		9
		50.8%	30.8%	11.7%	6.4%		0.3%
		57.9%	26.0%	10.3%	5.7%		0.1%
		46.5%	32.6%	12.4%	7.8%		0.7%
		47.8%	33.8%	12.3%	5.8%		0.2%
質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	よくある	ときどきある	あまりない	ない		無回答 その他
14	あなたは、ふだんの生活の中で身のまわりにある割合の表現（2割引、10%増量など）について、実際に計算していくらになるか考えていますか。	445	661	772	794		9
		16.6%	24.7%	28.8%	29.6%		0.3%
		16.8%	28.0%	27.4%	27.7%		0.1%
		15.3%	21.6%	28.3%	33.9%		0.8%
		17.6%	24.2%	30.6%	27.4%		0.1%
質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	よくしていると思う	ときどきしていると思う	あまりしていないと思う	していないと思う		無回答 その他
15	あなたは、一日の数学の授業で今日学習したことを使って、ちがう問題に取り組む活動をしていると思いますか。	272	775	988	637		9
		10.1%	28.9%	36.9%	23.8%		0.3%
		13.3%	32.6%	34.1%	19.9%		0.1%
		8.1%	23.3%	38.3%	29.7%		0.7%
		8.9%	30.7%	38.2%	21.9%		0.2%
質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	考えている	どちらかといえば、考えている	どちらかといえば、考えていない	考えていない		無回答 その他
16	あなたは、数学で新しい問題を考えるとき、これまでに学習したことを活用して考えていますか。	858	1099	512	204		8
		32.0%	41.0%	19.1%	7.6%		0.3%
		41.0%	37.6%	15.8%	5.6%		0.1%
		25.1%	42.4%	21.0%	11.1%		0.5%
		29.7%	43.1%	20.6%	6.3%		0.3%
質問番号	質問項目 1段目：全体の生徒数、2段目：全体の生徒数の割合 3段目：1年生の生徒数の割合、4段目：2年生の生徒数の割合 5段目：3年生の生徒数の割合	先生が説明しているのを聞く活動	自分一人で考えたり、問題をといたりする活動	ペアやグループで友達と相談したり、話し合ったいする活動	クラスで自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりする活動	授業で学習したことを使って、別の問題をする活動	無回答 その他
17	あなたは、数学の授業でどのような学習活動がわかりやすいと感じますか。	887	329	1002	177	276	10
		33.1%	12.3%	37.4%	6.6%	10.3%	0.4%
		38.9%	10.4%	34.9%	7.3%	8.2%	0.2%
		30.9%	12.5%	39.7%	6.6%	9.6%	0.6%
		29.4%	13.9%	37.6%	5.8%	13.0%	0.3%
18	あなたは、普段の数学の授業で、どのような学習の時間が多いと思いますか。	1305	577	411	241	138	9
		48.7%	21.5%	15.3%	9.0%	5.1%	0.3%
		44.9%	23.0%	14.0%	10.9%	7.1%	0.1%
		51.3%	21.0%	12.8%	10.3%	4.0%	0.6%
		49.9%	20.6%	19.1%	5.8%	4.3%	0.3%

６　児童生徒のつまずきポイントと平成２８年度研究テーマついて

（１）つまずきポイントの整理について

３年計画の初年度となる平成２７年度は、「つまずきポイントの整理と関連する学年での指導内容・指導事項の検討及び平成２８年度研究の方向性」をまとめていくことが大きな主題となっている。学びサポート協力校における日々の授業実践とともに、全国学力・学習状況調査の課題を踏まえたひょうごつまずき状況調査の実施等により、教科部会を中心として、つまずきポイントを明らかにし、その系統性や授業改善について協議を行った。

ア　つまずきポイント整理の視点

教科部会では、①ひょうごつまずき状況調査の分析結果、②全国学力・学習状況調査の結果、③各学びサポート協力校の児童生徒の実態を視点として、つまずきポイントを明らかにするとともに、整理を行うこととした。

イ　つまずきの分類

教科部会では、児童生徒の課題となっている、つまずきの分類として、①学習内容のつまずき、②教科において児童生徒が身に付けるべき資質・能力に関するつまずき、③指導方法・授業改善に向けた手立ての３点をもとに、分類を行うこととした。

ウ　つまずきポイント整理の手順

①　つまずき状況調査の結果、各協力校の児童生徒の実態、これまでの指導経験等をもとに、つまずきポイントを出し合う。

②　つまずきの分類を行う。

・出し合ったつまずきポイントをもとに分類を行う。すべての領域等を網羅していくのではなく、ポイントをしぼって分類していくこととする。

③　分類したつまずきポイントをもとに、つまずきの系統性を明らかにしていく。

・分類されたつまずきは、下学年のどこにつながっていくのかを考えていく。

・学習指導要領、教科書等をもとに協議において、出し合ったつまずきポイントの妥当性を考えていく。

④　整理したつまずきポイントをもとに、次年度以降各学校で研究を行うテーマ、領域等を決めていく。

・研究テーマは、本事業に関するテーマとし、次年度の指導事例集作成を踏まえ、どのつまずきを改善する実践とするのかが、サブテーマ等で現われるようにする。

つまずきポイントの整理と系統性

今年度の取組を踏まえ、ひょうごつまずき状況調査の結果の分析を中心として、以下の３点に整理し、まとめる。

Ａ　つまずきポイント	Ｂ　領域におけるつまずき	Ｃ　つまずきにつながる学習内容の系統
国語、算数・数学の学力定着において、特に課題となる汎用的な児童生徒のつまずきを「つまずきポイント」として、２つの視点からまとめる。 **①教科のねらい、目的等に関わるつまずき** **②教科における具体的な学習活動・内容等に関わるつまずき** さらに、算数・数学では、**③特につまずきの見られる単元等**についても、まとめる。	教科のつまずきポイントにつながる児童生徒のつまずきは、各領域で見たときに、どのようなつまずきとなるのかを２つの視点からまとめる。 **①領域のねらい、目的等に関わるつまずき** **②領域のねらい、目的等につながる具体的な学習活動・内容等に関わるつまずき**	領域におけるつまずきは、各学年段階において、どのような学習内容が関連しているのかについて特に課題となる内容をまとめる。 なお、教科の特性を踏まえ、国語では領域におけるつまずきをスパイラルに意識できるように示すこと、算数・数学では、教材の難しさを中心に示すこととする。

★は、ねらい・目的等のつまずき、◆は、単元等教材のつまずき、
●は、具体的な学習活動・内容等のつまずきを表す。

（２）Ａ　つまずきポイント

教科（国語、算数・数学）の学力定着において、特に課題となる汎用的な児童生徒のつまずきポイントを以下のようにまとめることとする。

国　語

ア　小学校国語　　**イ　中学校国語**

★自分の考えをもつこと
学習内容について、自分の考えをもち、読んだり、表現したりすることに課題がある。

★目的と表現の関係をとらえること
相手に応じて、目的・意図等を踏まえて、話す・書く等、自分の考えを表現することに課題がある。

★文や文章の構成・構造をとらえること
主語と述語のつながり、段落の関係、考えを表現する時の展開など、構造・構成についての意識や理解に課題がある。

★文章の要旨・主題をとらえること
文章の内容等について、大筋や大切なことを整理してとらえること、要約して表現することに課題がある。

●目的や意図を意識して書くこと
自分の考えを表現するときに、相手や目的、意図を意識し、自分の考えを明確にして書くことに課題がある。

●共通点や相違点を意識すること
話し合いの場面等において、共通点や相違点に着目すること、発言の意味を考えながら聞いたり、読んだりすることに課題がある。

★日常生活や社会生活と結びつけること
自分の考えを表現する際、日常生活や社会生活との関わりを意識したり、学習したことを関連させたりすることに課題がある。

★語感や語彙を豊かにすること
語句や文、語彙などに興味を持ち、自分で主体的に調べるなどして、理解を深めることに課題がある。

●複数の条件を踏まえて書くこと
複数の資料や文章を比較して考えること、また、限定された条件を踏まえて書くことに課題がある。

●文章からキーワードを見つけること
文章の内容や展開から、要約したり要旨をとらえたりするための大切な文や言葉を見つけることに課題がある。

算数・数学

ア　小学校算数

★数量や計算、図形にかかわる意味や概念を、実感をもってとらえること
数の相対的な大きさ、量の大きさ、小数・分数の量的な大きさについて、量感を伴って理解すること、小数や分数の乗法、除法の意味を理解すること、図形を構成する要素を基に判断することに課題がある。

★解と解法の見通しをもつこと
数について感覚的な大小関係、感覚的な範囲を伴って判断すること、既習事項を活用することに課題がある。

◆割合の意味を理解すること
式を的確に読み、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題がある。

●問題場面を考えるために、図的表現を用いること
問題場面を図、表、グラフで表現すること、問題場面を正しく把握し演算決定することに課題がある。

●解答の妥当性について見直すこと
問題の解決に必要な情報を選択したことを見直したり、答えを確かめたりすることに課題がある。

イ　中学校数学

★数量の関係を文字式で表すことや文字式から数量の関係を読み取ること
文字を数と同じ様に扱うこと、文字式の意味を解釈すること、文字式と数との関係をとらえることに課題がある。

★数学の学習用語・記号の意味を理解すること
具体的な学習内容を通して、用語・記号の意味や内容を理解することに課題がある。

◆問題を解決するために、着目した数量の関係をとらえて、方程式をつくること
問題の中から数量関係を複数見いだし立式すること、式を手順にしたがって能率的に処理することに課題がある。

◆証明の必要性と意味を理解すること
図形の性質や関係を言葉による表現から記号を用いて表すこと、図形の性質や関係が記号で表された情報を読み取ることに課題がある。

●数量の関係を、言葉や数、式、図、表、グラフ、記号で表現すること
図的表現、言語的表現、記号的表現を相互に関連付けて考えることに課題がある。

（３）つまずきポイントの系統性と平成２８年度協力校研究テーマ一覧

①小学校国語

研究テーマ	B　領域におけるつまずき
自ら考え学び合う子を育てる ～単元を通して、生きてはたらく 書く力をつける授業づくり～	話すこと・聞くこと：相手の意図をつかみながら、自分の考えをまとめること 目的や意図を意識して話すこと 共通点や相違点をとらえること
内容を正しく読み取り、 説明的に書く力の育成	書くこと：自分の考えを明確にするため、主語と述語のつながり、文の構成等を考えること 目的や意図を意識して書くこと 「書く」過程において、推敲すること 適切に文を分けること
生きてはたらく「ことばの力」を育む授業の創造 ～話の中心や共通点・相違点に気をつけて聞き 互いの考えを伝え合う力の育成～	
自分の考えを伝え合うことのできる 児童の育成 ～「聞くこと・話すこと」の指導を通して～	読むこと：文章の構成・構造をとらえること 文章の要旨・主題をとらえること 文章全体の展開に即して、登場人物の心情をとらえること 文章を読んで考えたことを伝え合い、自分の考えを深めること
主旨や主題を的確に捉え、効果的な表現に 結び付けられる子の育成 ～単元で学んだ言葉の力を活かして～	
一人一人に確かなことばの力をつけ、 豊かに学び合う子の育成を図る ～「わたしの読み」を育める子に～	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項：語彙についての知識 ことばのきまりについての理解

ねらい・目的等のつまずき　　具体的な学習活動・内容等のつまずき

C　つまずきにつながる学習内容の系統

高学年	中学年	低学年
目的や意図に応じて、話の構成を工夫しながら話すこと	理由・根拠・事例などを挙げながら筋道を立てて話すこと	事柄を順序立てて話すこと
自分の考えと比べ、共通点や相違点に関連して、考えたことを整理して聞くこと	必要な事柄について要点をとらえてメモすること	大事なこと意識して聞くこと
	互いの考えの共通点・相違点を考え、司会等の役割を果たしながら、話し合うこと	
資料を提示しながら、説明や報告すること	図表や絵等から読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること	
事実と感想、意見などを区別して書くこと	目的や必要に応じて、理由や事例を挙げて書くこと	自分の考えを明確にして書くこと
自分の考えを明確に表現するために、文章全体の構成を考えて書くこと		時間や事柄の順序に沿って、簡単な構成を考えて書くこと
文章の表現の効果などについて、確かめること	段落相互の関係（役割・つながり）を注意して文章を構成すること	語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと
		読み返す習慣を身に付けること
引用したり、図表やグラフ等を用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと	収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書くこと	
目的に応じて、文章の内容を的確におさえて、要旨をとらえること	中心となる語や文をとらえること	時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を読むこと
事実と感想、意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読むこと	段落相互の関係や事実と意見の関係を考えて読むこと	場面の様子について、想像を広げながら読むこと
登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえること	場面の移り変わりに注意しながら叙述をもとに想像して読むこと	文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと
優れた叙述について、自分の考えをまとめること	文章の要点に注意しながら、文章などを引用したり、要約したりすること	文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の考えをまとめること
文章の中での語句と語句との関係を理解すること	指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解して使うこと	文の中における主語と述語との関係に注意すること
	句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くこと	句読点の打ち方や、かぎ（「　」）の使い方を理解して、文章の中で使うこと
文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること	修飾と被修飾の関係など文の構成について初歩的な理解をもつこと	
	辞書を利用して調べる習慣を付けること	

②中学校国語

研究テーマ	B　領域におけるつまずき
読解力から発信力へ ～自分の考えを持ち、表現する力の育成～	**話すこと・聞くこと** 日常生活や社会生活に関わることについて話すこと 相手や場に応じて自分の考えを話すこと 表現の工夫を評価して聞き、自分の考えをもつこと
確かな語彙力を身につけ、豊かな表現力を養うための授業づくり ～　辞書を活用した短文づくり　～	**書くこと** 日常生活や社会生活に関わることについて自分の考えをまとめること 論理の展開を工夫し、自分の考えを書くこと ↑ 複数の条件を踏まえて書くこと
思考力・判断力・表現力の育成をめざした授業づくり ～書くこと・話すことを中心に～	
比較・問題解決の授業づくり ～主体的・協働的な学びを通して～	**読むこと** 文章から、人間・社会・自然などについて考え、自分の考えをもつこと 論理の展開や場面の設定の仕方をとらえて「読む」こと ↑ 文章からキーワードを見つけること
確かに読み取り、自分のことばで表現する生徒の育成	
自分の考えを表現する上で適切な言語選択ができる生徒の育成	**伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項** 語感や語彙を豊かにすること ↑ 辞書を活用すること

ねらい・目的等のつまずき　　具体的な学習活動・内容等のつまずき

C　つまずきにつながる学習内容の系統

第３学年	第２学年	第１学年	小学校
社会生活に関わることについて、考えをまとめ、説得力のある話をすること	論理的な構成や展開を考えて話すこと	全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成して話すこと	目的や意図を意識して話すこと
場の状況や相手の様子に応じて、話すこと	論理的な構成や展開等に注意して聞き、自分の考えと比較すること	自分の考えとの共通点・相違点を整理して聞くこと	共通点や相違点をとらえること
内容や表現のしかたを評価し、自分の考えに生かして聞くこと	異なる立場や考えを想定して、自分の考えをまとめること	キーワードや重要な要点をとらえること	メモをとること
	目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと		
論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書くこと	社会生活の中から課題を決め、自分の考えをまとめること	日常生活の中から課題を決め、自分の考えをまとめること	主述の関係、接続語を適切にとらえて、わかりやすい文を書くこと
書いた文章につて、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価し合い、自分の表現に役立てること	事実・事柄・意見・心情などを相手に効果的に伝わるように書くこと	自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと	文末の表現をとらえること
	自分の立場、伝えたい事実・事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること	段落の役割を考えて、文章を構成すること	適切に文を分けること
	多様な方法で材料を集めること	集めた材料を分類するなど整理すること	共通点・相違点を明らかにして書くこと
		図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと	
文章を読んで、人間・社会・自然などについて考え、自分の考えをもつこと	文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと	文章の構成や展開について、自分の考えをもつこと	文章の構成・構造をとらえること
文章の論理の展開の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること	文章の構成や展開について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること	目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること	文章の要旨・主題をとらえること
文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること	多様な方法で選んだ本や文章などから、自分の考えをまとめること	目的に応じて、必要な情報を読み取ること	
		グラフ・図・資料を関連付けて説明や記録の文章を読むこと	
	品詞の分類や用言の活用について理解すること	単語の類別について理解し、指示語や接続詞などに注意すること	主述を分類すること
	文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること	語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと	原稿用紙の使い方
			辞書を活用すること

③小学校算数

研究テーマ		B　領域におけるつまずき	C　つまずきにつながる学習内容の系統 第６学年	C　つまずきにつながる学習内容の系統 第５学年
協同的、互恵的な学びをめざして ～数と計算領域における「子どもの思考」を生かした算数授業づくり～	数と計算	十進位取り記数法による数の表し方について理解し、数の相対的な大きさを捉えること （１は0.01が100こ等）		小数の除法の計算の仕方と余りの大きさについて理解すること 乗数が小数である場合の乗法の意味について理解すること ・小数の乗法の意味について理解すること ・割合が１より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解すること ・小数の計算における乗数と積の大きさの関係について理解すること
伝え合い、学び合い自ら学ぶ力を育てる算数の授業づくり ～見通しを持って考え、進んで学び合う児童の育成～ 「わり算の指導を通して」	数と計算	わり算の計算の意味を理解すること		除数が小数である場合の除法の意味について理解すること ・場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解すること ・１に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解すること ・小数の計算における除数と商の大きさの関係について理解すること
考える面白さ、わかる愉しさ、学び合う楽しさをめざして	数と計算	小数、分数の意味と表し方について理解すること		整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること 整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること
自ら考え、探究する算数授業の創造 ～算数的活動を通して、実感を伴った量の理解を促す指導～	量と測定	量の大きさについての感覚を豊かにすること 単位の仕組みを理解し、単位換算すること 異種の２つの量における基準量・比較量・割合の関係を正しく捉えること	円の面積の求め方を理解すること ・円を分割し、並び替えて作った長方形の横の長さについて理解すること	三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を理解すること ・三角形の底辺と高さの関係について理解すること 単位量当たりの大きさについて理解すること ・単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解すること ・単位量当たりの大きさの求め方を理解すること
自ら考え　学び合う楽しい授業づくり ～図形感覚豊かな子の育成～	図形	図形の定義や性質について正しく理解すること 作図活動において、定規・コンパス・分度器・三角定規等を正確に操作すること		図形の合同について理解すること ・合同な三角形をかくために必要な条件を理解すること ・合同な図形を作図すること 図形の性質を見いだし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること ・基本的な平面図形の定義や性質について理解すること ・四角形の４つの角の大きさの和の求め方を理解すること
表現力豊かな子をめざして ～子どもたちが関わり合い、深め合う授業の追究～ 「算数的言語活動を充実させた授業づくり」	数量関係	同種の２つの量における基準量・比較量・割合の関係を正しく捉えること 数量の関係を文章や図から読み取って、式を立てること	具体的な事象で、２つの数量の関係が比例、反比例の関係になること理解すること	割合の意味を理解すること 百分率の意味について理解し、百分率を求めること 目的に応じて資料を集めて分類整理し、円ｸﾞﾗﾌや帯ｸﾞﾗﾌを用いて表したり、特徴を調べたりすること

ねらい・目的等のつまずき　単元等教材のつまずき　具体的な学習活動・内容等のつまずき

C　つまずきにつながる学習内容の系統

第４学年

- 小数の加法及び減法の計算の仕方について理解すること
- 示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解すること
- 簡単な除法（2 位数÷1 位数）について暗算すること
- 3 桁÷2 桁の除法の筆算について理解すること
  - ・仮商を立てること
  - ・割り切れる割り算と余りがある割り算の定着
- 除数が整数である場合の小数の除法の計算の仕方について理解すること
  - ・商が 1 より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、除法が用いられることを理解すること
  - ・基準量よりも比較量の方が小さい場面で、何倍かを求めるために除法が用いられることを理解すること
- 大きさの等しい分数があることに着目すること
- 面積の単位（㎠, ㎡, ㎢）について理解し、面積についての感覚を身に付けること
- 1a（1ｱｰﾙ）の面積と等しい正方形の一辺の長さを理解すること
- 分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角を作ったりすること
- 直線の平行や垂直の関係に着目し、平行四辺形、ひし形、台形の定義や性質について理解すること
  - ・作図の操作と図形の性質を関連付けて作図の意味を理解すること
  - ・等しい長さを写し取ることができるｺﾝﾊﾟｽを用いて、平行四辺形やひし形を作図すること
- 立方体、直方体の辺と面について平行や垂直の関係を理解すること
- 四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算すること

第３学年

- 万の単位について理解し、数直線から数を読み取ること
- 小数や分数を具体物、図、数直線を用いて表し、大きさを比べること
- 簡単な加法・減法（2 位数±2 位数）、乗法（2 位数×1 位数）について暗算すること
- 除法の 2 つの意味（等分除・包含除）について理解すること
- 整数、小数及び分数についての計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして理解すること
- 分数の意味と表し方について理解すること
  - ・等分した大きさ（分割分数）
  - ・端数の大きさ（量分数）
  - ・単位分数の見方
- 重さの単位（g、kg）について理解し、重さについての感覚を身に付けること
- 長さ、体積、重さのそれぞれについて単位の関係を理解すること
- 二等辺三角形、正三角形の定義や性質について理解し、定規とｺﾝﾊﾟｽを用いて作図すること
- 中心、半径、直径に着目し、円、球の定義や性質について理解すること
- 除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること
- 数量の関係を式に表したり、式と図を関連付けたりすること

第２学年

- 乗法の意味について理解すること
- 分数の意味を実感的に理解すること
- 長さについて単位（mm、cm、m）と測定の意味を理解し、長さの測定ができること
- 体積について単位（mℓ、dl、ℓ）と測定の意味を理解し、体積の測定ができること
- 正方形、長方形、直角三角形の定義や性質について理解し、作図すること
- 乗法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること
- 加法と減法の相互関係を図や式に表すこと

第１学年

- 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること
  - ・10 までの合成・分解
- 計算の意味や計算の仕方を、具体物を用いたり、言葉、数、式、図を用いたりして表すこと
- 身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べること
- 身の回りにあるものの形（平面図形、立体図形）の特徴をとらえること
- 加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること
- 数量についての具体的な場面を式に表したり、式を具体的な場面に結び付けたりすること

④中学校数学

研究テーマ		B　領域におけるつまずき	C　つまずきにつながる学習内容の系統 第３学年
数学的活動を通して、 思考力・判断力・表現力を高める 授業づくり ～生徒主体での基礎学力の 定着と理解の深化～	数と式	式の意味や式の表しているものを読み取ること 問題の中の数量関係を文字を使って、式や等式に表すこと 文字を使って表したものと数との関係をつなぐこと	
基礎基本の定着を図り、 自ら学び自ら考える授業の創造 ～図や表を用いた視覚化による 問題把握をめざして～ 数学的活動から 図形の直観的な見方や考え方を養い、 論理的に考察し表現する力の伸長	図形	平面図形及び空間図形の視覚的な見方を理解すること 図形の性質や関係を言葉による表現から記号を用いて表すこと 証明において、図形の性質や関係が記号で表された情報を読み取ること 帰納的な方法による説明と演繹的な推論による証明の違いを理解すること	
よくわかる、よくできる 授業の創造をめざして ～ 図形領域における つまずき改善の工夫 ～ 予習してから授業に臨み、 予習した内容を発表する アクティブラーニングを通して、 基礎基本の確実な理解と、 自ら学ぼうとする学習意欲の向上を はかる	関数	関数の意味を理解すること 表、式、グラフを読み取ること 表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること	
思考力・判断力・表現力を育む 数学教育を目指して	資料の活用	確率と統計に係る数学用語の意味や必要性を理解すること 確率と統計に係る知識を活用すること	

ねらい・目的等のつまずき　単元等教材のつまずき　具体的な学習活動・内容等のつまずき

C　つまずきにつながる学習内容の系統

第２学年

文字を用いた式で表したり、読み取ったりすること
- 文字式の意味を具体的な事象と関連付けて読み取ること
- 数量の関係や法則を文字式で表すこと

目的に応じて、等式を変形すること

平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめること
- 同位角の意味を理解すること
- 同位角が等しければ 2 直線は平行であることを理解すること

証明の必要性と意味及びその方法について理解すること
- 言葉で示された図形の性質や条件を、記号を用いて表すこと

2 つの数量の関係が一次関数になることを理解すること

一次関数について、表、式、ｸﾞﾗﾌを相互に関連付けて理解すること
- 一次関数の表から、x と y の関係を y=ax+b の式で表すこと
- 一次関数の表から、変化の割合を求めること
- 具体的な事象における一次関数の関係を式で表すこと
- x の変域に対応する部分を、ｸﾞﾗﾌ上に表現すること
- 比例のｸﾞﾗﾌから、x の変域に対応する y の変域を求めること

二元一次方程式を関数を表す式とみること
- 二元一次方程式の解とｸﾞﾗﾌの関係を理解すること
- 二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解すること

確率の必要性と意味を理解すること
- 確率を求めること

第１学年

文字を用いて数量の関係や法則を式に表現したり式の意味を読み取ったりすること
- 文字の値が負の整数のときに、文字式の値について考察すること
- 数量の関係を読み取り、文字式に表すこと
- 文字の値が整数のときに、式の値について考察すること

一元一次方程式をつくるために、着目する数量を読み取ること

角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解すること

平行移動、対称移動及び回転移動について理解し、二つの図形の関係について理解すること
- 図形の回転移動について、移動前と移動後の 2 つの図形の辺や角の対応を読み取ること

空間図形の特徴について、見取図と展開図を関連付けて読み取ること
- 空間図形における長さの関係を見取図から読み取ること
- 円錐の展開図において、おうぎ形の半径が円錐の母線に対応していることを読み取ること

扇形の弧の長さと面積並びに基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めること
- 底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解すること
- 円柱の体積の求め方を理解し、体積を求めること

関数の意味を理解すること

具体的な事象で、2 つの数量の関係が比例、反比例の関係になることを理解すること

比例、反比例を表、式、ｸﾞﾗﾌなどで表し、それらの特徴を理解すること
- 比例のｸﾞﾗﾌ上にある点の x 座標と y 座標の値の組が、その式を満たしていることを理解すること
- 反比例の表から、x と y の関係を y=a/x で表すこと
- 反比例のｸﾞﾗﾌから、x と y の関係を y=a/x の式で表すこと

ﾋｽﾄｸﾞﾗﾑや代表値の必要性と意味を理解すること
- ﾋｽﾄｸﾞﾗﾑから相対度数を求めること
- 度数分布表から相対度数を求めること
- 資料の数値を表に整理し、相対度数を求めること
- 資料を整理した図から最頻値を読み取ること

小学校

示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解すること

比について理解すること

左辺と右辺が等しいときに用いる等号の意味を正しく理解すること

図形の合同について理解すること
- 合同な三角形をかくために必要な条件を理解すること

立体図形の見取図をかくことを通して、辺や面のつながり、それらの位置関係について理解すること

比例、反比例の関係について理解し、式、表、ｸﾞﾗﾌを用いてその特徴を知ること

比例の関係を用いて、問題を解決すること

目的に応じて資料を集めて分類整理し、円ｸﾞﾗﾌや帯ｸﾞﾗﾌを用いて表したり、特徴を調べたりすること

【小学校国語】全国学力・学習状況調査で課題が見られた調査問題（平成１９～２６年度）

高学年

話すこと・聞くこと

◎スピーチの表現を工夫する
・　目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと

●司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進められる
・　自分の立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと

書くこと

◎言葉の使い方について調べ、結果から考えたことを明確に書く
・　目的や意図に応じて、自分の考えを効果的に書くこと

◎目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く
◎目的や課題に即して、資料から分かったことをメモにとる
●文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く
●文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
・　事実と感想、意見などと区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりすること

◎目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く
・　引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと

読むこと

◎目的や意図に応じて、段落の内容をとらえる
・　目的や意図などに応じて、文章の内容を的確におさえながら要旨をとらえること

◎広告を読み、編集の特徴をとらえる
●新聞の投書を読み、表現の仕方をとらえる
・　目的に応じて、文章の内容を的確におさえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること

◎文学的な文章の表現の工夫をとらえる
◎俳句の情景をとらえる
●文学的な文章に養生する人物を相互に関係付けて読む
●物語の登場人物の心情について、表現や叙述に即して読む
●登場人物の相互関係をとらえる
●物語の主人公について一文で書かれた内容を理解し、一文を二文の構成にして書き換える
・　登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

◎広告を読み、編集の特徴をとらえる
◎物語の主人公について一文で書かれた内容を理解し、一文を二文の構成にして書き換える
・　文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること

〔全国（公立）正答率７０％以下を抽出〕※漢字の読み・書き・書写は除く
◎兵庫県正答率６０％未満　　●兵庫県正答率６０％以上、７０％以下

中学年	低学年
◎聞き手にとって分かりやすいスピーチにつるために大切なことを理解している ・　伝えたいことを選び、自分の考えが分かるように筋道を立てて、相手や目的に応じた適切な言葉遣いで話すこと **◎話の要点を聞き取り、効率よくメモをとる** ・　話の中心に気を付けて聞き、自分の感想をまとめること ●ねらいを明確にして質問する ・　話の中心に気を付けて聞き、質問したり、感想を述べたりすること	
●はがきの表書きに必要な事柄の順序を考えて書く ・　相手や目的に応じて適切に書くこと ・　書く必要のある事柄を収集したり、選択したりすること **◎文章の構成や表現の効果を確かめ、正しく推敲する** **◎情景描写の効果をとらえる** ・　文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること	
●文と文との意味のつながりを理解し、文の論理を考えて書く ・　文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うこと **◎文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く** ・　指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと **◎故事成語の意味と使い方を理解する** ・　長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと	**◎文の定義を理解する** ・　文の中における主語と述語との関係に注意すること

【中学校国語】全国学力・学習状況調査で課題が見られた調査問題（平成１９～２６年度）

	第３学年	第２学年
話すこと・聞くこと	●表現の仕方に注意して説得力のある話をする ・　語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をすること	●目的沿って話し合い、互いの発言を検討する ・　相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること
書くこと	●手紙の後付けを理解している ・　文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること ◎論理の展開に着目し、評価・批評する ・　書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や表現の仕方などについて評価して自分の表現に役立てるとともに、ものの見方や考え方を深めること	◎文章の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書く ・　事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと ◎書いた文章を読み返し、目的に応じた表現に直す ・　書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、みやすく分かりやすい文章にすること
読むこと	◎論理の展開の仕方に即して、内容を読み取る ・　文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること ●論理の展開の仕方をとらえて、内容を理解する ・　文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること	◎比喩という言葉と結びつけて、表現の仕方を理解する ・　文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	※第３学年に記載している調査問題は、学習指導要領の改訂により、下学年から移行。	◎辞書を活用して、慣用句の意味を適切に書く ◎語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う ●辞書を活用して、語句の意味を適切に書く ・　抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること ◎主語に対応させて、述語を適切に書く ・　文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること ◎話し言葉と書き言葉との違いを理解し、適切に使う ・　話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解すること

〔全国（公立）正答率６０％以下を抽出〕※漢字の読み・書き・書写は除く
◎兵庫県正答率５０％未満　●兵庫県正答率５０％以上、６２％以下

第１学年

●話し合いの方向をとらえて司会の役割を果たす
・　話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること

◎主語に対応させて、述語を適切に書く
●書いた文章を読み返し、読みやすく分かりやすい文章にする
・　書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること

◎論理の展開の仕方に即して、内容を読み取る
◎目的に応じて必要な情報を読み取る
◎短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ
・　文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などとを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること

◎辞書を活用して、漢字が表している意味を正しくとらえる
・　語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨くこと

【小学校算数】全国学力・学習状況調査で課題が見られた調査問題（平成１９～２６年度）

	第６学年	第５学年
数と計算		◎小数の乗法の意味について理解している ◎場面と図とを関連付けて、二つの数量の関係を理解している ◎1 に当たる大きさを求めるために、除法が用いられることを理解している ◎割合が１より小さい場合でも、比較量の求め方が（基準量）×（割合）になることを理解している ◎小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している 小数の計算（小５） ・　乗数や除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること
		◎小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している ●商が１より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、除法が用いられることを理解している 小数の計算（小５） ・　小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること
		●三つの分数と小数の中で最大の数を見つけ、数直線上に表すことができる 分数の計算（小５） ・　整数及び小数を分数の形に直したり、分数を小数で表したりすること
		◎数量を等分したときの１つ分を分数で表すことができることを理解している 分数の計算（小５） ・　整数の除法の結果は、分数を用いると常に一つの数として表すことができることを理解すること
量と測定	●円を分割し、並び替えて作った長方形の横の長さについて理解している 面積（小６） ・　円の面積の求め方を考えること	◎三角形の底辺と高さの関係について理解している 面積（小５） ・　三角形、平行四辺形、ひし形及び台形の面積の求め方を考えること
		◎単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している ●単位量当たりの大きさの求め方を理解している 単位量当たりの大きさ（小５） ・　単位量当たりの大きさについて知ること
図形	※学習指導要領の改訂により、下学年から移行	●三角形 ABC と合同な三角形をかくために必要な条件を理解している 図形の合同（小５） ・　図形の合同について理解すること
		●ひし形、直角三角形の定義や性質について理解している ●四角形の４つの角の大きさの和の求め方を理解している 図形の性質（小５） ・　図形の性質を見いだし、それを用いて図形を調べたり構成したりすること
数量関係		◎百分率を求めることができる ●割合の意味を理解している ●百分率の意味について理解している 百分率（小５） ・　百分率について理解できるようにする
		●百分率の意味について理解している 円グラフや帯グラフ（小５） ・　目的に応じて資料を集めて分類整理し、円ｸﾞﾗﾌや帯ｸﾞﾗﾌを用いて表したり、特徴を調べたりすることができるようにする

〔全国（公立）正答率６６％以下を抽出〕
◎兵庫県正答率５６％未満　●兵庫県正答率５６％以上、７０％以下

第４学年	第３学年	第２学年
●小数の減法の計算をすることができる 小数の計算（小４） ・　小数の加法及び減法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること		
●商が １ より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、除法が用いられることを理解している ●何倍かを求めるために除法が用いられることを理解している 小数の計算（小４） ・　乗数や除数が整数である場合の小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること		
●三つの分数と小数の中で最大の数を見つけ、数直線上に表すことができる 分数の計算（小４） ・　簡単な場合について、大きさの等しい分数があることに着目すること	●数直線から数を読み取ることができる 整数の表し方（小３） ・　万の単位について知ること	
●示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している およその数（小４） ・　四捨五入について知ること		
◎面積についての感覚を身に付けている ◎1a（1 ｱｰﾙ）の面積と等しい正方形の一辺の長さを理解している 面積（小４） ・　面積の単位（平方ｾﾝﾁﾒｰﾄﾙ（cm^2），平方ﾒｰﾄﾙ（m^2）、平方ｷﾛﾒｰﾄﾙ（km^2））について知ること ・　正方形及び長方形の面積の求め方を考えること	●重さについての感覚を身に付けている いろいろな単位と測定（小３） ・　重さの単位（ｸﾞﾗﾑ（g）、ｷﾛｸﾞﾗﾑ（kg））について知ること	
◎作図に用いられている図形の約束や性質を理解している 直線の平行や直線の関係（小４） ・　直線の平行や垂直の関係について理解すること		
◎作図に用いられている図形の約束や性質を理解している ●ひし形、直角三角形の定義や性質について理解している 平行四辺形、ひし形、台形（小４） ・　平行四辺形、ひし形、台形について知ること		
●立体図形の辺と面の垂直の関係を理解している 立方体、直方体（小４） ・　立方体、直方体について知ること ・　直方体に関連して、直線や平面の平行や垂直の関係について理解すること	●ひし形、直角三角形の定義や性質について理解している 正方形、長方形、直角三角形（小２） ・　正方形、長方形、直角三角形について知ること	
●加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる 式による表現（小４） ・　四則の混合した式や（ ）を用いた式について理解し、正しく計算すること		

【中学校数学】全国学力・学習状況調査で課題が見られた調査問題（平成１９～２６年度）

第２学年

数と式

◎文字式の意味を具体的な事象と関連付けてよみとることができる
●数量の関係や法則などを文字式で表すことができる
文字を用いた式の四則計算（中２）
・　文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること

●具体的な場面で、等式を目的に応じて変形することができる
文字を用いた式の四則計算（中２）
・　目的に応じて、簡単な式を変形すること

図形

◎証明の意義について理解している
●同位角の意味を理解している
●同位角が等しければ２直線は平行であることを理解している
基本的な平面図形と平行線の性質（中２）
・　平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること

◎証明の意義について理解している
図形の合同（中２）
・　証明の必要性と意味及びその方法について理解すること

関数

●２つの数量の関係が一次関数になることを理解している
一次関数（中２）
・　事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ること

◎具体的な事象における一次関数の関係を式で表すことができる
●ｘの変域に対応する部分を、グラフ上に表現することができる
●比例のグラフから、ｘの変域に対応するｙの変域を求めることができる
●一次関数の表から、ｘとｙの関係をｙ＝ａｘ＋ｂの式で表すことができる
●一次関数の表から、変化の割合を求めることができる
一次関数（中２）
・　一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること

●二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることを理解している
●二元一次方程式の解とグラフの関係を理解している
一次関数（中２）
・　二元一次方程式を関数を表す式とみること

資料の活用

◎確率の意味を理解している
確率（中２）
・　確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること

〔全国（公立）正答率４５％以下を抽出〕
◎兵庫県正答率３５％未満　●兵庫県正答率３５％以上、５２％以下

第１学年

●文字の値が整数のときに、式の値について考察することができる
文字を用いた式（中１）
・　文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする

●一元一次方程式をつくるために、着目する数量を答える
一元一次方程式（中１）
・　簡単な一元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること

●作図と線分の垂直二等分線について理解している
平面図形（中１）
・　角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解し、それを具体的な場面で活用すること

●図形の回転移動について、移動前と移動後の２つの図形の辺や角の対応を読み取ることができる
平面図形（中１）
・　平行移動、対称移動及び回転移動について理解し、二つの図形の関係について調べること

●底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している
●円柱の体積の求め方を理解し、体積を求めることができる
空間図形（中１）
・　扇形の弧の長さと面積並びに基本的な柱体、錐体及び球の表面積と体積を求めること

◎関数の意味を理解している
比例、反比例（中１）
・　関数関係の意味を理解すること

●具体的な事象で、２つの数量の関係が反比例の関係になることを理解している
比例、反比例（中１）
・　比例、反比例の意味を理解すること

●比例のグラフ上にある点のｘ座標とｙ座標の値の組が、その式を満たしていることを理解している
●反比例の表から、ｘとｙの関係をｙ＝ａ／ｘで表すことができる
●反比例のグラフから、ｘとｙの関係をｙ＝ａ／ｘの式で表すことができる
比例、反比例（中１）
・　比例、反比例を表、式、グラフなどで表し、それらの特徴を理解すること

◎ヒストグラムから相対度数を求めることができる
●度数分布表から相対度数を求めることができる
●資料を整理した図から最頻値を読み取ることができる
資料の散らばりと代表値（中１）
・　ヒストグラムや代表値の必要性と意味を理解すること

《参考となる資料》

★ひょうごつまずき状況調査に関する資料

①ひょうごつまずき状況調査問題

・〔小学校国語〕〔中学校国語〕・〔小学校算数第５・６学年〕〔中学校数学第１・２・３学年〕

②設問別解答類型結果〔小学校国語〕〔中学校国語〕〔算数・数学〕

③教科に関する調査の正答率と児童生徒質問紙調査のクロス集計結果

★国立教育政策研究所ホームページでは、全国学力・学習状況調査に関する資料等を提供しています。

★兵庫県教育委員会義務教育課ホームページでは、次の資料等を提供しています。

・全国学力・学習状況調査結果　※平成 19 年度～平成 22 年度

・全国学力・学習状況調査結果を踏まえた授業や指導方法の工夫改善事例集　※平成 23 年度

・全国学力・学習状況調査の課題を踏まえた学習指導等の改善・充実のポイント　※平成 24 年度～平成 27 年度

・全国学力・学習状況調査における課題と改善・充実のポイント

平成 27 年度ひょうごつまずきポイント指導事例集等の作成に係る指導資料作成検討委員

●学識経験者	委員長	吉川　芳則	兵庫教育大学大学院　教　授
	副委員長	岡部　恭幸	神戸大学大学院　教　授
		長谷　浩也	環太平洋大学　准教授
		坂井　武司	鳴門教育大学大学院　准教授
		森戸　卓也	兵庫教育文化研究所　副所長

●国語部会

伊丹市立鈴原小学校	教　諭	山下拓志郎	宝塚市立南ひばりガ丘中学校	教　諭	前川　裕美
加古川市立加古川小学校	主幹教諭	木舩　和幸	明石市立魚住東中学校	教　諭	山端早百合
上郡町立山野里小学校	教　諭	米澤　聖子	姫路市立四郷中学校	教　諭	井上　優子
豊岡市立田鶴野小学校	教　諭	田中　靜	養父市立養父中学校	主幹教諭	西山佳代子
丹波市立西小学校	主幹教諭	荻野　弥生	丹波市立和田中学校	教　諭	西田　美和
淡路市立大町小学校	教　諭	那木　宣孝	洲本市立五色中学校	教　諭	城間　俊人

●算数・数学部会

三田市立けやき台小学校	主幹教諭	藤原　省吾	尼崎市立大庄北中学校	教　諭	西前　孝嗣
加東市立社小学校	教　諭	松尾　能志	小野市立小野中学校	教　諭	金鹿　一茂
姫路市立城乾小学校	教　諭	田中　渉	姫路市立大白書中学校	教　諭	坂田　怜輝
新温泉町立浜坂北小学校	主幹教諭	西村　則和	豊岡市立豊岡南中学校	教　諭	藤本　久司
篠山市立篠山小学校	教　諭	赤松あゆみ	篠山市立丹南中学校	主幹教諭	中森　邦広
南あわじ市立神代小学校	教　諭	朝田　幸代	淡路市立北淡中学校	主幹教諭	原田　敏明

編集　ひょうごつまずきﾎﾟｲﾝﾄ指導資料作成検討委員会、兵庫県教育委員会事務局義務教育課
発行　兵庫県教育委員会（平成 28 年 3 月）　兵庫県神戸市中央区下山手通５－１０－１